

平成27年第4回第九地区教科用図書採択協議会議事録

1 開会及び閉会に関する事項

平成27年8月4日(火)

開会 午前9時30分

閉会 午後4時30分

2 出席委員の氏名

委員 日高 良 (会長)

委員 記伊 哲也 (副会長)

委員 平山 浩一 (監事)

委員 安田 昌則

委員 長岡 廣通

3 事務局等の出席者

学校教育課長 武田 真治 (事務局長)

記録者 学校教育課長補佐 松永 浩一

4 場所

柳川市役所三橋庁舎 第2・3会議室

5 協議事項

1. 教科用図書選定結果の公表についての申合せについて
2. 「平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について(依頼)」
及び「平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の選定結果について(通知)」について
3. 一種選定における議決方法について
4. 答申内容及び一種選定
5. 一種選定確認

発言者	内 容
事務局	<p>只今より、第4回第九地区教科用図書採択協議会を開催させていただきます。本日は、中学校教科用図書の答申及び一種選定を行いますが、終日になりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>開催にあたり、日高会長がご挨拶いたします。</p> <p>あらためまして、おはようございます。猛暑の中、皆様にはお忙しい日々をお過ごしのことと思います。</p>
事務局	<p>本日は、第4回第九地区教科用図書採択協議会にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>この会はご承知のように、4月10日の第1回採択協議会に始まりまして、中学校教科用図書の採択に関しまして、本協議会におきまして慎重に審議をしてまいったところでございます。</p>
事務局長	<p>本日の第4回採択協議会におきましては、選定委員会より答申を受けまして、種目ごとに一種の選定を行います。</p> <p>本日は、終日となりますが、どうぞ宜しくお願ひいたします。</p>
事務局長	<p>続きまして、本日の日程につきまして事務局から説明を申し上げます。</p> <p>本日の日程につきまして説明いたします。実施要項の1ページ、2ページをご覧下さい。まず、協議事項といたしまして、教科用図書選定結果の公表についての申合せ、次に平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択及び選定結果について、最後に、一種選定の方法について協議いただき、その後、選定委員会の委員長の方から3種の選定答申をしていただきます。</p>
事務局長	<p>答申方法といたしましては、各部会の部会長、副部会長に入室いただき、それぞれの答申をしていただきます。</p>
事務局長	<p>答申を10分、ただし国語科と社会科は15分を予定しています。引き続き質疑15分、国語科と社会科は20分、その後一種選定という形で進めさせていただきます。</p>
事務局長	<p>本日は答申の終了予定時刻を16時50分、一種選定確認を経て、閉会行事終了予定時刻を17時10分と予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>それでは、協議事項に入りたいと思います。</p> <p>協議事項につきましては、日高会長より進めていただきます。</p>

会長	それでは、協議事項に入らせていただきます。
事務局	<p>まず、文書開示について事務局から説明をお願いします。</p> <p>別冊の採択協議会資料をご覧下さい。1ページに文書開示に関する要項、2ページに情報公開についての申合せ、3ページに文書開示等の基準など、基本的な点はすでに4月10日の第1回協議会で承認いただいているところです。</p> <p>資料4ページをご覧下さい。「教科用図書選定結果等の公表についての申合せ（案）」についてご説明申し上げます。各市町における公表については、前回の採択時と同様に、9月1日火曜日以降に公表するものとし、それまでは守秘したいと考えています。公表事項につきましては、採択の経過、結果、理由、採択協議会の議事録、採択協議会委員の所属・氏名、選定委員会総括部会委員の所属・氏名の6項目とし、公表の方法については各市町独自の公表方法によるものと考えています。</p> <p>続いて、資料の5ページから9ページまでは、協議会に開示要請があったときの請求書、通知書等の事務処理の様式です。以上でございます。</p>
会長	<p>只今、事務局から説明がございましたが、何かご質問、ご確認等はございませんか。</p> <p>ないようですので、事務局案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
委員一同 会長	<p>はい。</p> <p>異議がないということですので、協議事項の1については、事務局案のとおり決定いたします。</p> <p>なお、それぞれの教育委員会では、開示請求があった場合は最終決定しました1種のみを開示することとし、採択協議会として開示請求があった場合に、1種以上の請求があった場合は、3種について開示するとしてよろしいでしょうか。</p>
委員一同 会長	<p>はい。</p> <p>異議が無いようですので、次の説明を事務局の方からお願いします。</p>
事務局長	<p>次に資料の10ページをご覧ください。既に10ページについては、各市町へ「平成28年度中学校教科用図書採択日程」としてお知らせしている内容でございます。今後の日程をご確認いただきたいと思います。</p> <p>11ページから14ページをご覧下さい。8月4日付けで「平</p>

	<p>成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について（依頼）」の公文書をお送りいたします。ここにあらかじめ通知文とそれに対する採択決定の報告様式について案をお付けしておりますので、各教育委員会におかれましては、事務に遺漏のないようよろしくお願ひいたします。</p> <p>続きまして、15ページから19ページをご覧下さい。15ページから19ページは、9月1日付で、採択協議会の会長から各市町へ「平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の選定結果について（通知）」を報告する文書です。</p> <p>選定の経過、選定の結果、選定の理由、採択協議会議事録、採択協議会委員、選定委員会委員の通知を行うものです。選定結果については一種のみ、選定理由書も一種のみを記載いたします。</p>
会長	只今説明いたしました「平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について（依頼）」及び「平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の選定結果について（通知）」についてご質問はございませんか。
委員一同	ありません
会長	「平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について（依頼）」及び「平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の選定結果について（通知）」についてはよろしくお願ひします。
事務局長	<p>次に一種選定における決議方法について事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>資料の20ページをご覧下さい。一種選定における議決方法案についてご説明いたします。この案は、前回の採択時と同様の方法です。</p> <p>選定につきましては投票形式で、過半数をもっての議決です。1回目の投票にて過半数に達したものが無かった場合は、再度投票を致します。その場合は3位を除いた1位と2位でそのいずれかを選ぶという方式で投票を行い決議するというもので</p>
会長	す。
委員一同	それでは、説明がありました資料の20ページの決定方法により、一種を選定することでおよろしいでしょうか。
会長	はい。
	決定方法については説明のとおりで決定いたします。

事務局長	<p>次に投票用紙及びそれに対する記入方法について事務局から説明をお願いいたします。</p>
	<p>資料の21ページをご覧下さい。投票用紙の案をお付けしております。各教科の答申、質疑応答が終わりましたら、投票用紙をお配りします。まず投票用紙の上の教育委員会名をご記入いただきたいと思います。種目ごとの選定したい教科書の欄に○印を付けていただきたいと思います。</p>
	<p>投票につきましては、教科毎に答申、質疑応答の後にその都度行っていただきます。</p>
	<p>質疑の後、投票が終わるまでの間は、採択にかかるような私語は控えていただきますようお願いします。以上です。</p>
会長	<p>投票用紙の中身について説明がありましたが、こちらの投票用紙の形態でよろしいでしょうか。</p>
委員一同 事務局長	<p>はい。 それでは、選定委員会から答申をお願いしたいと思います。選定委員会委員長及び副委員長をお呼びします。</p>
	<p>(今村選定委員長、境副委員長入室)</p>
選定委員長	<p>おはようございます。平成28年度使用中学校教科用図書の選定につきまして、第九地区教科用図書採択協議会からの諮問に対しまして、選定委員会は慎重に審議を重ねまして、結論を得ましたので、本日ここに答申いたします。</p>
	<p>なお、答申の詳細につきましては、この後、各教科の選定部会から説明いたします。</p>
事務局長	<p>ありがとうございます。選定委員長は答申書をお渡し下さい。</p>
	<p>(答申書手渡し)</p>
	<p>(国語選定部 部会長、副部会長 入室)</p>
事務局長	<p>それでは、早速、日程に従いまして教科別に答申をいたします。なお、答申者の紹介については、選定委員長の方でお願いいたします。</p>
事務局長 選定委員長	<p>最初の教科は国語です。よろしくお願ひいたします。</p>
	<p>ただいまから、国語部の選定結果について答申いたします。</p>

部会長

答申者は、部会長 大牟田市立甘木中学校 校長 井上茂樹、副部会長 みやま市立東山中学校 教頭 野口易子 です。

それでは、書写を含む国語科選定委員会の答申をいたします。平成28年度使用中学校教科用図書として3種を選定したいと考えています。選定の経過はそこに示しているとおりです。

慎重に審議し、選定作業を進めました。そのような経過を経て、調査部会の調査結果報告を基に、さらには学識経験者、保護者代表、各学校の意見を尊重しながら、国語科3種、東京書籍、三省堂、光村図書の3種を選定いたしました。

それでは、国語科から報告いたします。

東京書籍、「新しい国語 1～3年」です。選定理由としては、各学習材に「言葉の力」、「基礎編」、「資料編」等の関連が明記しており、具体的な目標が達成できる内容になっています。東京書籍では、学習材という言い方をしていますが、教材のことだと読み替えていただければ結構かと思います。それから、文学の教材などは定評のある作品と児童文学作家の作品が取り上げられています。例えば、1年生で杉みき子さんの作品などが取り上げられています。また、現在いろいろなメディアで取り上げられている人物の作品が多いので、生徒の興味は引き易いかと思われます。例えば、1年生で池上彰さんの作品などです。

内容に関する配慮事項等で、食育・日本の伝統文化、キャリア教育に関する題材を取り扱っています。2年生で小泉武夫さんの「鰯節」の話を載せてあったり、3年生で姜尚中の「何のために働くのか」というような教材が取り上げられています。

各学年とも、冒頭に詩や短歌、俳句など言語感覚を養う学習材が設定されているところです。分量としては、各学年本編が豊富にあります。特に読書学習材が充実しています。

使用上の便宜として、巻末の基礎編の「学びを支える言葉の力」は、国語の学びに通底する基礎的な力を鍛えることができ、「実用的な言葉の力」、「論理的な言葉の力」、「創造的な言葉の力」の三つの観点でさらに6系統化されて、3年間で段階的に積み上げて学ぶことができるようになっています。

また、一つだけでなく、いくつもの答えがありうる課題を提示し、アクティブラーニング、主体的・協働的な学びを通した学習材が用意されています。

それから、特徴としては、「言語」の「言」、これが、通常教科書体というものがありますけれども、東京書籍では、本文の書体は筆使いや字形を書き文字に近づけた特別な明朝体活字が、使用されています。「しん」（しんじょう）などもそうです。

続いて、三省堂ですが、「現代の国語」という題名になっています。各教材・各領域とも学習目標が明確で、学習活動が仕組みやすいようになっています。特徴として伝統的な言語文化に関する内容が非常に豊富です。例えば、1年生で「食感のオノマトペ」という教材がありますけれども、それなども言語文化に対するお話しですね。或いは、3年生のコラムにコミュニケーションツールとしての歌ということで、和歌の役割について述べてあるところがあります。各教材のあとには、著者紹介と併せて関連した内容の本の紹介があって、読書意欲を喚起しやすい構成になっています。

内容に何する配慮事項では、巻頭に「領域別につける力」の一覧表が設けられていて、身につけたい力が明確になっています。各領域に「学び方」が明示されています。「学びの道しるべ」ということで、身に付けた力が活用できる構成となっています。

新設の「読み方を学ぼう」では文章を読む技能が身に付くよう工夫されていて、巻末の折り込みなどにもまとめられています。例えば1年生の「ペンギンの防寒着」などが取り上げられています。資料編の「学ぶ力を高めよう」や「参考資料」にはさまざまな学習に必要な実践的知識がまとめられていて、発展的学習での活用ができるようになっています。分量は適切です。使用上の便宜として、どの教科書も同じなのですが、挿絵、写真、図など効果的に使われています。特に、今までなかった学習用語辞典というものが巻末に載っていて、学習に効果的であると考えています。印刷・製本の特徴については、特徴としては、カラーユニバーサルデザインの配慮がなされているということです。

続いて光村図書、「国語 1～3年」です。

内容の範囲及び程度については、どの教材も適切で、目標が達成できるように設定しています。生徒の発達段階に沿った内容で、教材数や各領域のバランスもよくて系統的です。また、文学的な文章や古典等は、評価の高い教材を配置し、説明的な

文章は、多様な題材を取り上げています。環境問題や情報化社会等の現代的な題材を多く取り入れています。例えば、2年生で「モアイは語る」は環境問題と関連した文章です。或いは、情報化社会に関しましては、2年生で「メディアと上手に付き合うために」、3年生では、光村図書の今回の特徴であると思いますが、各学年で東日本大震災を取り扱っています。例えば、1年生で「空を見上げて」、特に3年生で「想いのリレーに加わろう」等も新しい教材として魅力的です。

それから、内容に関する配慮事項で教材は、発達段階に即していて、3年間の積み重ねによる確かな学力の育成や主体的な学習を促すものとなっています。各領域の教材が系統的、層状的に配置されていて、「習得」から「活用」を繰り返す等、生徒の論理的な思考を段階的に養う教材が多いです。「学習の見通しをもとう」、「学習に取り組む」、「次の学習に生かす」というような学習のプロセスを明示しています。主体的に学習活動の充実を目指せる仕組みになっています。分量は、各領域、指導する分量として適切です。使用上の便宜として、古典の原文と対訳文とで書体を変える等、字体の種類が多いです。それから、「学習を広げる」の中の「資料」、「付録」等を、学習の程度に応じて発展的、弾力的に使った学習が展開できると考えられます。印刷・製本の特徴では、1年、2年、3年とフォント、大きさを変えています。学年の発達段階を考慮したものだと思われます。

続いて、書写です。書写についても国語科と同様に選定を進めました。結果、書写3種、東京書籍、三省堂、光村図書を選定いたしました。

まず、東京書籍「新しい書写」です。1年用と2・3年用に分かれています。3種のどの教科書についても言えることですが、国語科の目標達成に結びつく内容になっています。楷書、行書、硬筆、実用書の題材があります。書写の基礎的、基本的内容を系統的に生徒の発達段階に応じて身につけることができる内容となっています。特に、東京書籍では、内容の範囲では「しょしやのたね」で生徒の関心を高めるようなミニ知識が紹介されています。巻末に常用漢字表が楷書体と行書体で示されています。参考になるものです。生徒たちが使える人名用漢字表も掲載されています。内容に関する配慮事項では、基本運筆

について写真版で丁寧な解説があります。題材ごとの手本には、半紙大の大きさを多く取り入れています。実物大ということで使いやすいです。毛筆の範書に文字の中心を示す印が行ごとにつけられています。書写テストがあり3年間で学んだことを確認できるような仕組みになっています。また、悪い例を記載して、違いを見つけて学習するような工夫がされています。

別に、原寸大の手本には名前の例示があります。「書くときのポイント」が教材の近くにあり、書くときの手がかりとできます。特に平仮名の「は」「ま」「ほ」等の結びについては、字源を意識した配慮がされています。

分量としては、144ページです。

使用上の便宜としては、基本運筆についての写真での説明があります。朱墨を使い濃淡でメリハリをつけて穂先の違いを説明しています。視覚的に非常に分かりやすいです。それから、学習の進め方の一覧表や各範書部分に、めあての提示・自己評価欄があって、挿絵やイラストも多く全体的にカラフルで楽しく学習ができる工夫されています。

続いて、三省堂です。「現代の書写 1・2・3」となっています。実用書の題材がかなり多いです。硬筆を重視した内容という特徴が三省堂にはあると思います。実用書は、ノートや原稿用紙など学校生活に身近なものが多いです。年賀状や封筒、願書の書き方など写真版で取り上げられています。生徒の関心を高めるため、資料編でいろいろなことを取り上げています。巻末に、硬筆の小・中学校で学習する漢字の楷書・行書一覧表があります。毛筆の範書については、東京書籍と同じように、文字の中心を示す印が用紙の上下に付けられていて配慮が伺えますが、やや文字が全体的に小さめかなととらえます。それから、悪い例の記載もあり、生徒に気づかせるような工夫があります。分量は116ページです。毛筆が全体に占める割合が少なく、硬筆を重視していることが伺えます。「文字の変遷」が見開き3ページを使って解説してあり、変遷がわかりやすくなっています。執筆の姿勢、用具の置き方、筆や硬筆の持ち方、墨のすり方、片付けの仕方の記載があります。また、指先から見た鉛筆の持ち方の写真があります。模範とすることができますということです。

最後に、光村図書「中学書写1・2・3年」です。教科書は

	<p>1冊になっています。内容の範囲及び程度については、実用書は、壁新聞やノート等、学校生活に身近なものが多いです。往復はがきや封筒、エアメール・願書の書き方等も一部、写真版で取り上げています。生徒の関心を高めるために、コラムでは「文字の歴史を探る」や「デザインと文字」「手書きの力」等の記事を取り上げています。</p> <p>内容に関する配慮事項として、文字の大小や字の結構について指導しやすいよう、ていねいに、詳細に説明されています。それから、基礎・基本の確認、毛筆で確認、応用、自己評価を行うという配列になっています。特に、平仮名の「は」「ま」「ほ」「な」等の結びについて字源を意識させた配慮があり、写真を使った説明がされています。分量は総ページ数119ページです。</p> <p>使用上の便宜として、教科書が一冊になっているので、学習内容の振り返りがしやすくなっています。2年生になっても1年生で学んだことを振り返りができます。基本運筆については見開きで写真が掲載されています。淡墨やイラストで、穂先の動きを説明しています。執筆の姿勢、用具の置き方、毛筆・硬筆の持ち方、片づけ方の写真等が掲載されているので活用しやすいです。教材毎にワークシートがあって、活用しやすくなっています。</p> <p>以上のようなことが、3種選定した理由ということでございます。以上です。</p>
会長	ありがとうございました。只今、国語、書写の3種答申を頂いたところです。続きまして、質疑に入らせていただきます。何か、ご質問はございますか。
委員	国語と書写が同じ教科書会社というところと、違う教科書会社というところがあるんですが、選定の考え方として、国語と書写は同じ会社の方がいいのか、それとも関係ないと思われますか。
部会長	バラバラで選択したとしても1社を選択したとしてもどちらも一長一短あると思います。というのは、国語の教科書と書写の教科書と関連させている会社も結構あります。ただ、よりよい教科書を使うという観点から、バラバラに選んだとしてもそれはそれで使えると思います。
委員	言語活動は、全教育課程で重視していくことなのですが、国

	<p>語が基盤になると同時に統合していく教科でもあると思うんですね。それぞれの会社が言語活動を重視していると思うけれども、「話す」「聞く」「書く」「読む」を関連的に、言語活動を促進するという面からはどうですか。それから、教科書から授業改善を図っていくという観点も大事だと思いますが、言語活動を生徒の主体的活動を促進するという面からはいかがですか。</p>
部会長	<p>確かに、国語は言語活動をしていく教科ですので、他の教科への影響は大きいと思いますけれども、以前の教科書と比較すると、巻末などに、例えば「話し合いの仕方」を取り上げたり、また、関連している読書について取り上げたり、他の教科、理科とか社会とかに関連する教材を取り上げたりしています。巻末を充実していくことで、言語活動、他の教科の話し合い活動に役立てることができるのではないかと思います。</p> <p>あと、言語活動の主体的活動については、以前の教科書と比べて、どの教科書も進化していると思います。これから、若い先生方が増えていくと思いますが、例えば、学習の目標が書いてある、そして、学習活動を確認して、学びを深めよう、自分の考えを持とう、言葉を広げようというように、教科書に沿って、学習を振り返ったり、自分なりにまとめることができることが、学習活動を通じてできる。要するに、自学自習ができるという仕組みは3社とも持っていると思います。</p>
委員	<p>主体的活動という面ではどうですか。今おっしゃる様に若い先生が増えてくると、教科書をきちんと丁寧に教える、教材研究をしながら、授業そのものが成長していくような仕組みになっている。そういう観点からいかがですか。</p>
部会長	<p>国語は両面あると思います。国語と言語の力、話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと、そういう力を持てるこもそうですし、一方では、どんな文章と出会うかというふさわしさがあると思うんですね。そうすると、今の子ども達が将来にかけて出会う、環境問題とか高度情報化社会とか、あと日本人として避けられない東日本大震災ですね。そういうものとどう向き合っていくのかというような現代的課題というものを子ども達にきちんと知らせていく、といった面で、ここが変わったなということは東日本大震災ですね。それをきちんと教材として取り上げているのは光村図書で、全学年で何らかの形で取</p>

	り上げています。どの教科書会社も、情報化社会や環境問題の教材については、取り上げています。
会長 委員	他にございますか。
部会長	3社の中で、東京書籍だけがアクティブ・ラーニングという言葉を使われていますが、他の2社は主体的学習や論理的な思考を養う教材が多いという表現となっていますが、その意図は何なのでしょうか。違うのでしょうか。
会長 委員	東京書籍の姿勢として、学習材という言葉を使っていることから、主体的学習ということで、どのように進めていくかという点に力を入れていると思います。ただ、他の2社についても、主体的な学習、協働的な学習というのは、これは学習のやり方ですので、できる仕組みにはなっています。アクティブ・ラーニングが今盛んに取り上げられていますから、ここだけ使ったのは、ここが優れていると読み取ってもらったら困るなと思います。
部会長	他にございますか。
委員	先程のお話しの中で、資料が大事ということでしたが、3社ともさほど変わりはないということで理解してよろしいでしょうか。
部会長	今回、三省堂は前回分冊になっていましたが、今回一緒になっています。教科書が一体化していますので使い易い。その充実の度合いは、昔の教科書と比べると、進歩しているなど。子ども達が、自分で興味を持ったら巻末を開いたり、どうだったかなということで、見聞きして、引くことができるという点では、どの教科書会社も適切であると思います。
会長 委員	もう1点お願いします。光村図書の使用上の便宜で、書き込みが可能な形で漢字と文法の練習問題が用意されているとあります、他の教科書会社はどうですか。
部会長	他の2社に無いということではないです。
会長 委員	他にありますか。
部会長	3社見比べてみると、使用上の便宜のところとか、項目立ての数が違いますね。その数が違うということはどういう理由があるのでしょうか。
部会長	数が多い方が、良いとか悪いとかということではありません。特徴として示しているので、数を揃えると書ききれないとか無理に書かなくてはいけないということになりかねませんので、

	数の多い少ないで判断してもらうと困ったことになります。特徴として書いているつもりです。 他にありませんか。無ければ、書写について。 ページ数、分量について、会社によっては他社と相当な開きがありますね。1年からそれぞれ分けてありますが、果たしてその時間内にできるのですか。
会長 委員	全部扱うとかではなくて、コラムとかを使った指導というのもありますから。
部会長	他にありませんか。
会長	無いようですので以上をもちまして、国語部の答申を終わらせていただきます。答申者の方はご退席いただいてよろしいでしょうか。ご苦労様でした。
	(答申者退室)
会長	選定委員長、副委員長は、一種選定の間、退出いただいてよろしいでしょうか。
	(選定委員長・副委員長 退室)
会長 事務局長	それでは、国語及び書写の一種選定の投票を行います。 投票用紙を配布しますので、各自が選定された教科書に○印を付けて、投票して下さい。よろしくお願ひします。
	(投票用紙配布 ・ 投票用紙記入)
会長	回収させていただいてよろしいでしょうか。 では、回収いたします。
	(投票用紙回収 ・ 集計)
事務局長	それでは、開票結果を発表します。 国語教科書は、光村図書が過半数に達しておりますので、国語教科書は、光村図書に選定されました。 続いて、書写の教科書は、光村図書が過半数に達しておりませんので、書写は光村図書が選定されました。以上です。

事務局長	<p>ここで、15分間休憩を入れたいと思います。45分間から再開したいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center;">(休 憩 ・ 再 開)</p>
事務局長 選定委員長	<p>次の教科は社会です。今村委員長お願ひ致します。 ただいまから、社会部の選定結果について答申いたします。 答申者は、部会長 みやま市立山川中学校 校長 大津千代美、副部会長 柳川市立柳南中学校 教頭 池上裕徳 です。 よろしくお願ひします。</p>
部会長	<p>失礼します。社会科選定部会において慎重に審議を致しまして、平成28年度使用中学校教科用図書とて、地理的分野は東京書籍、帝国書院、日本文教出版。歴史的分野は東京書籍、教育出版、日本文教出版。公民的分野は東京書籍、帝国書院、日本文教出版。地図は東京書籍、帝国書院を選定いたしました。</p>

選定理由につきまして、内容に関する配慮事項及び使用上の便宜を中心にご説明いたします。

まず、地理的分野です。3社ともに観点毎に話をさせていただきます。まず、小学校や歴史的分野、公民的分野との関連です。

東京書籍は、最初に、この国はどこかな？ということで、小学校の学習とか国旗と関連づけた部分があります。また、随所に3分野の関連を円グラフで表わして、この部分は、他の分野のことと関連があるんだよという表現があります。日本文教出版は、連携コーナーというのがあります。ページの下の欄に矢印で小学校のどの部分と関連しているとか、他の分野とも関連があるよということが教科書の下に書かれています。

続きまして、1時間毎の授業に関しまして、東京書籍につきましては、最初に毎時間毎時間、授業の最初にめあてが示されて、最後に、学習したものを活用して調べたり、考えたり、表現したりする言語活動を組む表現で活用が書かれています。帝国書院も同じように、ページの左上に学習課題が示されて、時間の最後に、確認しようということで基本的なことを、説明しようということで、活用、表現できるような課題が示されています。毎時間、めあてと活用ができるようにできています。

同じく、日本文教出版も、どのページでも、毎時間の授業の最初にめあてが書かれていて、最後に学習の確認と活用ということで、基本的なことの確認と表現等を含んだ活用が示されています。

また、単元毎のまとめとして、東京書籍は、学習を振り返ろうとして、最初と最後に、まずは、基本的な振り返り、そして最後に基本的なことを活用して思考したり、言語表現したりするような、学習を振り返ろうというコーナーが単元の最後に設けられています。帝国書院も、単元の最初に学習を振り返ろうということで設けられています。日本文教出版も同じように、学習のまとめ、学習の中身を整理して、テーマごとに調べ学習ができるようなまとめがされています。

また、全体を通して、思考、判断、表現、整理する、或いは地理的な技能を育成するために、東京書籍では「地図スキルアップ」であるとか「調査の達人」とか「地理にアクセス」とかコーナーが設けられています。帝国書院も、「技能を磨く」とか「羅針盤マーク」でコラムの紹介などがされています。日本文教出版も、「スキルアップ」、或いは、「地図+α」ということで、思考、判断、表現の育成ができるようなコーナーが多彩に設けられています。また、この中身につきましては、教科書の冒頭に、コーナーの説明が載せられています。

3社が大きく違うところは、3社のうち2社ですが、「世界の諸地域」と「日本の諸地域」というのがありますと、そこに課題があります。課題につきまして、東京書籍と日本文教出版はほぼ同じようなテーマが設けられて、単元毎に、この単元はこういうテーマを勉強するんだよということが書かれています。帝国書院については、テーマが若干2社と違います。例えば、中国・四国地方。他社は、人口減少とか都市村落の視点で書かれていますけれども、中国・四国地方の場合は、地域の結びつきに注目しています。近畿地方は、2社は歴史的背景の視点ということでテーマを決めて書かれていますけれども、帝国書院については、環境保全に着目してということで、若干2社と違う点があります。

続きまして、歴史的分野です。

歴史的分野も3社選定しておりますけれども、東京書籍と日本文教出版につきましては、毎時間の授業構成と併せて単元の

	<p>最後のまとめ、思考力、判断力、表現力等を付けるためのコラム等が、地理と同じような配列で入っています。</p> <p>説明中、申し訳ありません。私たち、3種選定の資料をいただいていて、何の事項に関連、補足するものなのかの説明を加えて頂けたら分りやすいと思いますので。</p>
会長 部会長	<p>はい。わかりました。</p> <p>歴史的分野、東京書籍、内容に関する配慮事項です。小学校での内容が、各時代の学習を導入する部分が必ず入っていることと円グラフで関連づけが書かれています。それと1時間毎にめあてと確認ができるようになっています。他に、「スキルアップ」「深めよう」等、思考・判断・表現ができるようにいろいろなコーナーが設けられています。東京書籍の大きな特徴は、教科書全体を通して、人権・平和・環境・女性、特に女性に関するコラムは、歴史的に活躍した女性が花絵のコラムについています。使用上の便宜では、現在勉強しているところは、時代の中のどの部分かということで、時代スケールが見やすい場所に配置されています。東京書籍は、全ての单元においてですけども、巻末に重要語句の「用語解説」が掲載されていて、これは地理も公民も同じです。</p> <p>続いて教育出版です。小学校や他分野の関連ですが、特に小学校の関連は、最初の第1章で小学校で出てきた人物とか文化遺産を取り上げて、小学校からスムーズに入れるようになっています。1時間毎の授業については、最初にめあてが示されて、授業の最後に「ふりかえる」ということで、基本・活用に繰り返すことができるようになっています。また、「テーマ学習」「地域調査の手引き」等のいろいろなコーナーがありまして、思考・判断・表現に活用できるようになっています。特に、教育出版については、人権・平和・環境等、現代社会の課題に関わる記述が多いようです。時代スケールについては、毎時間の授業毎に、この授業の部分はここだよと示されています。</p> <p>最後に、日本文教出版です。日本文教出版は、歴史学習の最初の单元に、歴史の捉え方ということで、小学校で学習したことが最初に大きく取り上げられています。また、地理的分野や公民的分野、小学校の関連がわかりやすく示されています。毎時間の授業については、地理と同じように示されています。思考・判断・表現ができるようにと「とらえよう！時代の転換」</p>

や「でかけよう！地域調べ」「歴史を掘り下げる」「先人に学ぶ」などいろいろなコーナーで調べることができるようになっています。また、日本文教出版は、人権・平和・環境・防災など現代社会の課題に関わる記述が、最後に大きくまとめられています。以上が歴史です。

次に、公民的分野です。東京書籍は毎時間、最初にめあて、最後にまとめができるようになっています。

小学校の流れとか関連につきましては、東京書籍は同じように関連マークがありますし、小学校の学習とか人物や出来事ということで教科書の最初に導入があります。

帝国書院は、地理や歴史を振り返るということで、教科書の途中に、例えば、税は、租庸調という税が出てきた時に公民の税と関連してますよという表現で文章の中に他分野との関連が入っています。日本文教出版は、同じように教科書に小学校や他の分野との関連が随時記載されています。

1時間1時間の構成は、東京書籍、帝国書院、日本文教出版、地理分野と同じように、最初にめあてが示されて、最後にまとめという形で、活用とか或いは説明しようとか言語表現に結びつける中身になっています。単元のまとめもそれぞれ、最後に「学習を振り返る」というコーナーがきちんと設けられて、基本の理解とそれを受けた活用、特に言語表現で説明したりするようなまとめが載せられています。この単元のまとめで特徴的なのが、東京書籍は、例えば経済のところでしたら、コンビニエンスストアの経営者になろうというのが最初に出されて、経済の勉強を毎時間していって、章の最後に、じゃあコンビニエンスストアの弁当を企画しようなどのテーマ学習が単元毎より大きい章の中で設けられているのが特徴です。

それから、思考・判断・表現を養う部分については、各社ともいろんな表現で、例えば「公民にチャレンジ」とか「明日に向かって」とか「羅針盤」などのコーナーで家庭学習ができるように、言語活動が育成できるようになっています。

最後に地図です。地図の大きな違いは、東京書籍は、最初に「地図の見方」というのが大きく示されています。それと、地図の中身が一般的な地図の次に、地理で勉強する世界の諸地域、日本の諸地域のテーマ毎に資料がついています。例えば、近畿地方で歴史について勉強するテーマがあったら、それに関連す

	<p>る資料がついています。また、九州地方については、環境保全について勉強するというテーマが地理の学習にありますので、テーマ資料が随時付いている。これらが新しく出たところだと思います。</p> <p>帝国書院の特徴的なところは、一般的な地図の後に、上から見た様子、鳥瞰図が示されています。また、色合いが帝国書院と東京書籍は全く違っています。カラフルな色で、併せて土地利用、田んぼは田んぼの土地利用をしているという記号と緑色を重ねているのが特徴です。土地利用表現と等高段彩表現を合わせた表現が採用されています。</p> <p>また、2社の違いとして、東京書籍は、各教科書の世界の諸地域、日本の諸地域で学習する順番に地図が記載されています。帝国書院は、アジアからヨーロッパ、アフリカと勉強していくんですけど、1箇所違います。アジアの後、アフリカになっています。</p> <p>以上で答申を終わらせていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>只今、社会3種、地図2種の答申いただきました。続いて、質疑に入らせて頂きます。何か、ご質問はございますか。</p>
委員	<p>地理・歴史・公民・地図とございますが、1つずつ分けて進めましょうか。いいですか。地理のご質問は。</p>
部会長	<p>3社ともめあての提示があつて、まとめというもので終わっているのですが、それぞれ違いがあると思うんですね。めあての内容もまとめの仕方も、それぞれの特色を言ってもら正在ですか。使いやすさについて、子ども達が実際にめあてを提示されて。</p>
	<p>東京書籍のめあてとまとめは、比較的、みんなができる、例えば、まとめは、具体的にこの言葉とこの言葉とこの言葉を使ってまとめなさいという表現になっている。日本文教出版は、どういうことだろう？とかの表現で、少し深く掘り下げてまとめるような表現になっています。帝国書院もどちらかというと、他社と比べたら若干難しい課題が示されています。しかし、授業の箇所によって、具体的だなというものとアバウトな要求をしているなというところもあります。</p>
会長	<p>他にございませんか。地理について。</p>
	<p>ないようでしたら、次に歴史について質問ございますか。</p>

委員	3社それぞれ配慮事項など、具体的な良さを抽出してきてあると思いますが、観点から見た時に、歴史はトータルで、大きな流れとかその背景、その時代時代の特色を掴んでいくということは非常に大事なことですよね。そのような観点から見たときに、3社それぞれどのような良さがあるのかお聞きしたい。
副部会長	<p>東京書籍は、記述されている本文の内容わかりやすさは、生徒にとって理解しやすいであろうと思います。日本文教出版につきましては、地理の方では、めあてと振り返りのまとめの部分ですけれども、1つの視点だけではなく、習得の部分と活用の部分に渡ってまとめられているという部分が、全体として流れを掴んでいく上で掴みやすいところがあるのではないかと思います。全体的な掴みの流れとしては、3社ともさほど変わらない。章の初めに、全体的な流れを掴む部分がありまして、最後には章をまとめるという部分がありますのでさほど変わらないと考えています。</p> <p>捉え方としては、全体を捉えて、それぞれもっと詳しくその部分を捉えて、それをまとめるという流れは3社とも変わらないとは思います。</p>
委員	もう1点いいですか。大きい観点になるけれども、教科書選定の基本的観点に5つ上げられていて、それは、まさに教育課程全体を言っているのですけれど、歴史的分野が担う部分が大きいと思うんですね。そのような観点から見たときに、3社それぞれの良さはどうでしょうか。
副部会長	3社とも、あまり変わりませんが、例えば、東京書籍であれば、国宝・重要文化財マークとか世界遺産マークとか、そういうマークを取り入れて、これはこういうものだよと示しているというところなど、どの教科書会社にもそのようなところがあると思います。選定委員会の話のなかではある一定のラインはクリアしているということでした。基本として、選定部会で一番考えたのは、子どもにとってわかりやすい教科書がいいのではないかという点で3社を選定したという状況です。
会長 委員	<p>他にありませんか。</p> <p>あえて、現代社会の課題についてどこも上げてありますが、3社の違いは、人権・平和・環境は一緒なのですが、後の4つ目が違うのですが、具体的にはどのように違うのか教えてください。</p>

副部会長	東京書籍は女性の問題を取り上げています。教科書では「女性コラム」という7つのコラムを取り上げています。日本文教出版では、「先人に学ぶ」というコーナーがありまして、食、伝統文化、防災、資源・環境という形で明記されている。伝統文化を含めてどの教科書にも同じような形、コラム等で現代の課題について取り上げられているという状況です。
委員	子どもにとってわかりやすいという観点でお話しいただいたのですが、新しい先生方も増えてくる。先生方にとって教えやすいという観点ではどうですか。
副部会長	子どもたちがわかりやすいということは、教師にとっても教えやすい教科書だと私個人としては理解しています。
部会長	資料が豊富ということは、若い先生方にとっても勉強することができると思います。
会長	他にありますか。無ければ進行いたします。公民について、何か質問がありますか。
委員	公民的分野の観点の中に、見方・考え方として、対立と合意とか、効率と公正とか内容的な観点を入れていると思いますが、こういうところから見たときに3社のそれぞれの特色・良さはどうでしょうか。
部会長	対立と合意については、各社とも最初の章にしっかりと書かれています、例えば、マンガやイラストで描いたりとか、どの会社も工夫されていて、その部分では3社甲乙付けがたいと思いました。ですから、3社ともその点は意識して作られているのではないかと。
委員	内容の記述から見た時に、生徒から非常にわかりやすいとか、全体を見たら、最初のガイダンスとしては共通かもしれないが、そういう面からはどうですか。
副部会長	東京書籍は、効率と公正という部分については、資料にマークが入っています。この資料は、こういう問題を取り扱っている資料だというマークが入っていますので、子どもにとってはわかりやすいのではないかと。
部会長	それは、最初の単元だけではなくて、教科書全体に渡ってマークがあります。
委員	もう1点いいですか。それと関連してくるけれども、共通の観点の中に、社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断する、これは社会的なものの見方として非常に大事ですね。

部会長	<p>もっと大きな視野から見た時には、3社の特色はいかがですか。</p> <p>東京書籍と日本文教出版は、しっかり教科書を通して、課題やテーマを持っています。例えば、東京書籍は、環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化・宗教、防災・安全などのテーマが最初に示されて、最後に持続可能な社会を目指してという、最後は、私達にできる参画社会ということで、4つの観点で最後のページでまとめてあります。同じように日本文教出版は、人権・平和、伝統・文化、環境・科学技術、日本の政治と経済というテーマで、教科書が最初から最後まで貫かれていますし、最後の章で、持続可能な社会について、自分の考えをまとめようというテーマも4つの観点でまとめるようになっている。帝國書院は、最後に持続可能な社会で、これについて調べようという2つのテーマがあります。</p>
会長	他にありますか。
委員	地理でも聞いたのですが、めあてとまとめ・確認が3社ともある訳ですが、それぞれの特色は地理と同じなのでしょうか。
部会長	私は同じだと感じています。
副部会長	基本的には、東京書籍は、説明しようとか活用しようとか、1点でまとめられているのですが、他の2社については、習得と活用という分けたまとめ方になっている。あと、日本文教出版の方が、話しとか協働的な取り組みに近いような感じがしています。他の2社は、まとめてみようとか説明してみようとか、それは表現活動ですけれども、他との関わりがあるのが日本文教出版かなという捉え方をしています。
委員	東京書籍の内容に関する配慮事項の中に、地理・歴史・公民の3分野を関連させて、持続可能な社会の形成、この文言は他の2社には無いのですが、非常に重要な観点なのではないかと。なぜ他の2社には書かれていないのかお尋ねします。
委員	それと関連で、持続可能な社会の構築というのが、学習指導要領の中でも書かれていますので、先程説明ありましたけれども、他の2社もあったんだけれども、わかりやすかったのは東京書籍だったのかと。
副部会長	東京書籍は、分野の関連マークがきちんと載っているということで、そこを取り上げて、強調する意味で書いております。
委員	確認なのですが、3分野を関連させてと書いてあります。実際、授業時数等は3・3・4で、以前と変わったところは、3

	<p>年生の4時間で歴史の分野を書いていいということになっていますね。違うのではないですか、前回の指導要領と。2年生までで歴史を終わらせて、それにのっとった上に3年生で公民だったのが、今回は歴史が入ってもいいという考え方。そこで、教科書が変わってもいいという考え方でこのような統一性がなかったのでしょうか。それは、教科書会社が変わってもいいということなのでしょうか。</p>
副部会長	<p>非常に難しい問題だと思います。同じ教科書会社の方が、教師にとっても、生徒にとってもやりやすいと思いますが、変わっても特段支障はないと思っております。</p>
委員	<p>分量の問題で、歴史とか地理とかページ数がかなり差があると思うのですよ。東京書籍と日本文教出版ですね。20数ページ違うから、どのような理由でそうなっているのか。差は余り分量的には関係なく、レイアウトだけの問題なのか。あまりにも差があるように感じたので。</p>
副部会長	<p>公民の時間が100時間ですので、それに合った量ということでは、3社とも同じだと思っております。</p>
委員	<p>東京書籍は、結構量取り上げられていますので、その中で、先生が選択されるんでしょうけど、逆に絞られたら、先生からは選べないということですかね。</p>
委員	<p>教科書会社によっては、見開き1ページでやる部分が、4ページで1つの単元というか1時間分で取扱っている会社もあれば、2つに分けている会社もございますので。</p>
部会長	<p>授業時数100時間ということでは、3社とも同じように。資料が多いことなどの違いだと。見ていて、そのページ数ほどの違和感はありませんでした。</p>
会長	<p>よろしいですか。他にございますか。では、進めます。</p> <p>地図に参ります。先程、地理のところでも出たのですが、地図についてございますか。</p> <p>よろしいですか。では、全体を通してございますか。</p> <p>無いようすで以上をもちまして、社会部の答申を終わらせていただきます。 答申者の方は、ご退席下さい。ご苦労様でした。</p>
	<p>(答申者、選定委員長・副委員長 退室)</p>

会長	それでは、一種選定の投票を行います。
事務局長	只今から、選定のための投票用紙を配布しますので、各自が選定された教科書に○印をお願いします。
(投票用紙配布 ・ 投票用紙記入)	
	回収させていただいてよろしいでしょうか。 では、回収いたします。
	(投票用紙回収 ・ 集計)
事務局長	それでは、開票結果を発表します。 社会教科書（地理的分野）は、東京書籍が過半数に達しております。従いまして、社会教科書（地理的分野）は、東京書籍に選定されました。 続きまして、歴史的分野は、東京書籍が過半数に達しております。従いまして、社会（歴史的分野）は、東京書籍に選定されました。 続きまして、公民的分野は、東京書籍が過半数に達しておりますので、公民的分野は、東京書籍が選定されました。 続きまして、地図は、東京書籍が過半数に達しておりますので、地図教科書は、東京書籍に選定されました。以上です。
	(数学選定部 部会長、副部会長 入室)
事務局長 選定副委員長	次の教科は数学です。境副委員長お願いします。 ただいまから、数学部の選定結果について答申いたします。 答申者は、部会長 大川市立大川東中学校 校長 今村和博 副部会長 大川市立大川南中学校 教頭 渡邊賢二 です。
部会長	それでは、數学科選定部会として、7種から3種を選定いたしました。資料にありますように、東京書籍、啓林館、日本文教出版を選定いたしました。選定の結果につきましては、資料にありますように、4回の選定部会を行い、学校意見の集約・検討、その後調査研究委員会から調査結果報告をいただきまして、それを基に、選定に関する5観点、学識経験者・保護者代

表の意見を頂きまして答申書を作成いたしました。

それでは、その選定理由について説明いたします。説明の前に、どの社にも共通して見られる全体的な構成内容として、1つ目は、基礎的・基本的な知識・技能の習得、またそれを活用する思考力・判断力・表現力を育成するような内容が配列されるなどの工夫がされている。2つ目が、教科書を使って生徒自らが主体的な学習に取り組めるよう、学習内容だけではなく、内容のつながりや重要ポイントを示すなどがあります。つまり、数学的な活動や振り返り、または、繰返しとかよく言われますけれども、主体的・受動的な学習、いわゆるアクティブ・ラーニングを意図したような教科書になっています。極端に言えば、参考書的になっているように感じました。それは、どの教科書にも言えることです。

それでは、1社ずつ説明させていただきます。

まず、説明の中身につきましては、内容に範囲及び程度、内容に関する配慮事項、使用上の便宜を中心に。

東京書籍ですが、内容の範囲及び程度については、3点書いております。そこはお読み頂きたいのですが、先程申し上げた基本的な部分です。

それから、内容に関する配慮事項は6点書いておりますが、巻頭に、学習の進め方として、指導者・保護者のみなさまへ・学び合いのページ・数学マイノートなど4ページを使って記載されて主体的な学習ができるように工夫されております。それから、「ちょっと確認」や「もっと練習」、巻末には「前年度ふりかえり～まとめ編」「補充の問題」等で繰り返し学習ができるということで、個に応じて学力を伸ばす工夫がなされているのが特徴かと思います。それから、小中連携や中高連携を意図してありますと、目次に関連する算数の学習内容を示して、本文中の「ちょっと確認」や1年巻末には「算数のふりかえり」を8ページに渡って書いてあります。それから、中高連携としては、3年生の本文中に「やってみよう」や3年巻末の「もっとひろがる数学」ということで高校の学習内容につなげているようなこともあります。あとは資料のとおりですが、数学的活動・言語活動についても、意図して書いてあります。

使用上の便宜につきましては、章末に「基本の問題」や巻末補充問題では、教科の基礎・基本の定着のために、どこで学ん

だ問題かを記号で明示して、本文中の「まちがい例」や巻末の「まちがい直し」等を設定してあって、間違いを繰り返さないような配慮を行っています。それから「さくいん」ですけれども、ちょっとした定着や振り返りのことが書いてあります。そこに利用できるかなということです。以上、東京書籍につきましては、そのような工夫がなされていました。

続きまして、啓林館です。まず、内容に関する配慮事項の1つ目は、先程申しましたこと重視した内容になっているということです。補充的・発展的な問題や課題は、各単元や学年ごとに配慮されていて、別冊が付いており、これが特徴になっている。この善し悪しについては、後ほど説明します。そこに何が書いてあるかというと、学んだ内容と関連のある内容や学習を活用した場面を取り上げ、様々な子どもの実態に合わせることができる内容になっている。

それから、内容に関する配慮事項では、本編では、基礎的・基本的な内容だけでなく補充的な問題や発展的な内容を巻末にきちんと掲載しているということ。このことは、他の2社と余り変わらはありません。別冊につきましては、先程言ったとおり既習の内容を。それから、言語活動についてですけれども、話し合い、説明、ノート・レポートの作成等の活動ができるようになります。とびらのページがあって、子どもに課題意識をもたせるように工夫しているところもあります。巻末の「力をつけよう」ということで、多くの問題を準備しているのがこの教科書の特徴です。

別冊を調べましたら、本編の方は、273ページ、別冊が56ページあります。ただ、資料の第1章から第7章を考えますと、どのページも一緒です。

使用上の便宜につきましては、既習学習を振り返ったり、数学的な見方や考え方を伸ばす内容についてはマークをしてあるということ。それから、「みんなで話し合ってみよう」「自分の言葉で伝えよう」「自分の考えをまとめよう」では、言語活動を充実させるような内容になっています。あと、別冊では、本冊で取り上げられている「基本のたしかめ」「章末問題」等の解答を載せたりしています。特に、別冊の裏側にも書いてありますが、ナビブックといいますけれども、こう書いてあります。理解を深める学び直しの習慣と学んだ数学を進んで活用す

	<p>る姿勢を身につけるための本です。授業中だけではなく、家庭や社会でもこの本を参考に探求活動が行われ、数学の働きが世の中で広く実感されることを願っています」ということでの別冊となっています。</p> <p>最後に、日本文教出版ですけれども、内容に関する配慮事項では、言語活動については、巻頭に「ノートの工夫」、「話し合おう」、「数学レポートをかこう」であるとか、または、「表現の例」、「説明の例」、「○○さんのノート」があります。数学的な表現力を伸ばせる工夫がなされています。オリエンテーション的な「次の章を学ぶ前に」ということで、既習事項について振り返ったり、また、1年巻末に「算数をふりかえろう」と小中連携についての学び直しも工夫されております。それから、各学年の巻末には、「数学マイトライ」のタイトルで、課題学習的な問題を取り上げて、生徒の主体的な学習ができるように工夫されています。詳しい解答・解説つきで丁寧に扱っています。</p> <p>使用上の便宜ということでは、どの社にも言えることですが、巻頭「この本の使い方」というのを説明しております。それから、小節末には「やってみよう」、章末には「深める数学」と「生活への利用」が設けてあります。習熟度に応じた学習にも対応できるようになっています。「次の章を学ぶ前に」ということで、生徒が主体的に学習しやすいように工夫しています。最後に書いておりますけれども、この会社は特別支援教育への配慮からか、文章を読みますと、文節で改行してあります。途中の文節ではなくて、文節で改行しているのが特徴で、わかりやすいように配慮しております。</p> <p>他、印刷・製本などについては、3社とも、書いておりますとおり、ユニバーサルデザインに配慮されているということです。</p> <p>以上、選定部会としては、東京書籍、啓林館、日本文教出版の3種を、平成28年度使用數学科教科書として選定いたしました。以上です。</p> <p>ありがとうございました。数学3種答申いただいたところです。何かご質問はございませんか。</p> <p>数学的活動というのが、それぞれ充実されているのですよね。その多様性というか、数学的活動もいろいろあって、それを組</p>
会長	
委員	

	み合わせたり、関連させることによって、数学的な考え方方が広がると思います。そういう観点から見たら、3つの会社のそれぞれの良さはいかがですか。
部会長	どこも工夫されていますね。それと、数学的活動というのは、操作活動とか念頭操作活動をすることですので、レベルから言えば操作的な活動が、例えば、これから念頭操作的なところにもっていくところになっていますけど、こういった操作活動、切り取って作っていくような操作活動ができるようにも工夫されています。それに、最後のページに厚紙で、一部だと思いますけど。あと、話合ってみようだとか、そういう数学的な活動なようなものも工夫されています。
委員	その操作的数学活動をした後に、それを説明する活動などをセットにしているところはありますか。要するに、言語活動等を考えると、操作は操作だけで終わっていたら、そこで終わりじゃないですかね。それを伝え合ったり、説明したりすることによって、自分に内面化されていくと思います。
部会長	ここに、自分の考えをまとめようということから、みんなで話合ってみようという項目が入れてありますから、たぶん、教師側は、特に若い教師などは話し合せようとか、一方的な利用が多い中で、工夫ができるかなと思います。
委員	それは3社ともですか。
部会長	はい、3社ともです。
委員	もう1点。先程説明があったのですが、啓林館が分冊になっていますね。メリットはわかりましたが、デメリットはありますか。
部会長	それは、選定部会でも話をしましたが、学習規律の問題で、これを忘れてくる子がいるんじゃないかなと。どういう取り扱いをしようかと。最初から教師が預かるだとか、家庭に任せておくとか、そういう面のデメリットはあるかと。
委員	内容、主旨としては、いろんな場面で使えますか。
部会長	きちんとはめ込んでおけば。厚さといつてもこれくらいです。だから、うまく使えば、非常に効果的で、主体的学習に繋がると思います。
会長	他にございますか。
委員	算数・数学というのは系統性が明らかなのですが、わかりやすいところで言えば、例えば、啓林館の内容に関する配慮事項

	で、各領域の配置は、全学年で同様の配列になっており、学年相互の関連が図られているとありますね。それは、他社にはなかったのですか。
部会長 委員	他社もだいいたいそうです。 そこは、啓林館が明確に書いてあった、特徴的に整理されてあったと。もうひとつ、使用上の便宜の中で、学び方の指導がきちんと書かれていますが、他社には書かれていませんよね。そこは、どうなのですか。
部会長	日本文教出版にも、この本の使い方という形で書かれています。啓林館は、先程言いましたように、学習の進め方というオリエンテーションがあつて、日本文教出版にはこの本の使い方ということでありますし、東京書籍は、学び合いのページだとか、ここも4ページに渡ってノートの取り方などは書いてあります。オリエンテーション的な部分は、各社ほぼ同じです。
会長 委員	よろしいですか。他にございますか。
部会長	主体的な学習ができるようになっている部分ですが、1時間でそうなのか、または、単元構成としてどうなのかをお尋ねしたいのですが。
委員	見開き1時間で計画していることは他にない。ただ、授業がそれで進むかということも善し悪しがあると思うんですね。見開き1ページとしてはあるみたいですね。
部会長	単元構成的なものではないですね。
委員	それと、小学校の教科書の流れ、中学校の教科書と関連する部分についてはどうですか。
部会長	小学校の教科書はないのですが、これまで、3社とも、小学校との関連を部分的に、先程おっしゃった系統的とありましたけど、逆に、それは非常にいいことでもあると思います。
委員	数学は、差が付きやすいですよね。理解やいろいろな技能にしても、そういう場合に、数学的な考え方方が大事であるけれども、基礎的・基本的な内容がしっかりと定着していく観点から、問題の内容とか量とかを見たときに3社の特色はいかがですか。
部会長	量は、今の教科書は柔軟に対応できるようになっています。そして、多くは基礎的な部分になっています。それは、3社ともです。
委員	南筑後では、中学校の二極化というのが問題視されている。

会長	<p>そういう点から、補充とか習熟度別などの観点からの使いやすさというのは変わらないですね。</p> <p>他にございますか。無いようですので、数学部の答申をこれで終わらせていただきます。答申者の方は、ご退席下さい。ご苦労様でした。</p> <p>(答申者、選定副委員長 退室)</p>
会長	<p>それでは、1種選定に入ってよろしいでしょうか。投票用紙をお願いします。</p> <p>(投票用紙 配布・記入)</p> <p>よろしいですか。それでは、回収をお願いします。</p> <p>(投票用紙を回収、開票)</p>
事務局長	<p>それでは、開票結果を発表します。数学教科書は、啓林館が、過半数に達しておりますので、数学教科書は、啓林館が選定されました。以上です。</p>
事務局長	<p>それでは、午前中の答申は以上で終了いたします。なお、午後の部は、予定どおり午後1時5分から開始したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>(休憩)</p> <p>(理科選定部 部会長、副部会長 入室)</p>
事務局長	<p>それでは、午後の部の答申に入ります。次の教科は理科です。今村委員長お願いします。</p>
選定委員長	<p>ただいまから、理科部の選定結果について答申いたします。答申者は、部会長 大牟田市立宅峰中学校 校長 和田洋子 副部会長 大牟田市立田隈中学校 教頭 菅原幸典 です。よろしくお願ひします。</p>

部会長	<p>平成28年度使用中学校理科用図書として、3種を選定します。理科の選定部会では、4回の会議を行い、内容を慎重に審議しました。会議では、選定についての観点の理解、学校意見の集約・検証、調査研究委員会からの結果報告・意見交換、報告内容を基に5社の教科書についての比較・検討を行いました。また、学識経験者・保護者代表の方の意見を伺い、最終選定作業を行い答申書を作成しました。そこで3種、東京書籍、大日本図書、学校図書を選定しました。</p> <p>特に、理科の選定の観点は、目的意識をもって観察、実験に取り組み、問題を解決する。観察、実験の結果を分析し、表現する能力を育てる。科学技術と日常生活との関連や社会へ役立つことなどを観点として取り上げております。</p> <p>では3種の教科書について、説明させていただきます。</p> <p>まず、東京書籍の「新しい科学」です。内容の範囲及び程度について、学習指導要領の趣旨に即し、教科の目標が十分達成できる内容になっています。観察・実験等の冒頭には「観察・実験の目的」欄を設け、観察・実験の目的を明確化しています。観察・実験のページに、明確に示されております。同じように、観察・実験の欄には、「結果の見方」と「考察のポイント」によって、結果の分析・解釈する際のヒントを示しております。</p> <p>また、「書く」「話す」というマークを使って、「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」など探究の過程に直結した言語活動を配置しています。また、「書く」の中には、全部ではありませんけれども、書き込み欄を教科書の中に設定して、言語活動をより深められるように工夫しております。</p> <p>次に、内容に関する配慮事項です。各単元の内容の関連性や教材入手時期、生徒の科学概念の形成を配慮した単元配列となっております。学習後に「学びを活かして考えよう」「学んだことをつなげよう」を設定し言語活動を行うことで、思考力・表現力を高めるとともに、内容の理解をより深められるようにしております。つまずきやすい内容では、「例題」や「考え方」を示しております。学習内容と日常生活との関連を図ったり、科学への興味・関心を高めたりする内容が「科学でGO！」というコラム欄に紹介されています。</p> <p>次に分量です。学習指導要領の定める内容が、授業時数から見て適切に配分されています。</p>
-----	--

	<p>次に、使用上の便宜です。特色としまして、付録としてペーパークラフトがございます。これは、各学年の最後のページに、ペーパークラフトで理解しづらい内容を立体的に理解できるよう工夫されています。3年生では星座の早見表、2年生では温帯低気圧、1年生では世界の活火山分布がペーパークラフトとして取り上げてあります。</p> <p>最後に、印刷製本は適切であり、見出しのところに単元ごとに色分けがしてあり、各ページに章の名前が記載されています。</p> <p>次に、大日本図書の「理科の世界」について説明させていただきます。内容の範囲及び程度は、学習指導要領の趣旨に即し、教科の目標が十分達成できる内容になっています。観察・実験の欄では、予想したり着目点を確かめたりして目的意識を持つことができるよう工夫しています。最初の実験に着目点が示されております。そして、手順の最後には、「結果の整理」「結果から考えよう」などの考察で、分析し解釈する力が身につくようになっております。「話し合ってみよう」という欄を設けて、観察・実験結果をもとに考察し、原理や法則を探求する活動を取り上げています。また、小学校や前学年の学習内容、或いは他の教科との関連を示しつつ、「思い出そう」ということで、随所に書かれております。また、特徴としまして、単元末に「終章」が設定され、単元で習得した知識を使って考える課題解決学習を通して、活用する力を身につくように工夫しております。</p> <p>次に、内容に関する配慮事項ですけれども、各単元の内容の関連性や教材入手時期、観察・実験のしやすい時期などに配慮して標準的な学習の順番に配されています。また、各単元のまとめのページでは、自学自習の便宜をはかるため、キーワードを自分で説明して確認できるよう工夫されています。また、特別支援教育の配慮として、キャラクターを利用し吹き出しの改行位置を読みやすく改善しています。</p> <p>次の分量ですけれども、学習指導要領の定める内容が、授業時数から見て適切に配分されております。</p> <p>使用上の便宜ですが、算数や数学の計算の仕方を活用し、計算でつまずかないように配慮されています。</p> <p>最後、印刷製本ですが、適切であると思います。</p> <p>次に学校図書の「中学校科学」について説明させていただき</p>
--	---

	<p>ます。内容の範囲及び程度につきましては、学習指導要領の趣旨に即し、教科の目標が十分達成できる内容になっています。観察・実験のページでは「？」マークで学習の課題を示し、目的意識を持って取り組むができるよう工夫されており、また、「結果」と「考察」を分けて示し、その違いを意識させ、観察、実験の結果を分析して解釈し表現する能力を育てる内容となっております。「科学の窓」や「どんな仕事」というコラムで科学技術が日常生活や社会を豊かにしていることや安全性の向上に役立つてることに触れております。</p> <p>内容に関する配慮事項では、単元は、先の2社と異なり、1分野から2分野の順で配列されており、学習の順番は各学校の方針にまかされております。言語活動の充実を図るために、「レポートの書き方」等配慮されています。1年生では詳しく、2、3年では巻末資料として入っております。また、章末の「学習の確認」、単元末の「学習のまとめ」、また、3年生の教科書の最後には、3年間の総まとめの問題が配されています。公式が出てくるところでは、「例題」を設けて解き方の説明を入れ、わかりやすいように配慮されています。</p> <p>次に分量ですが、学習指導要領の定める内容が、授業時数から見て適切に配分されています。</p> <p>使用上の便宜ですが、特に、各単元末には、単元の学習内容と関連した職業の紹介を見開き2ページで入れてあり、子どもたちの将来に関して、希望を持ちやすいような、キャリア教育にも関連した内容で示しております。</p> <p>印刷製本につきましては、適切であると考えています。以上で説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。ただいま、理科3種答申いただいたところです。続いて、質疑に入りたいと思います。何か質問はございませんか。</p> <p>お疲れ様でした。理科は、数学の問題解決の能力が大事だと思うけれども、もっと大きなサイクルというか、体験や活動を重視しながら問題解決能力をつけていくことが大事な教科だと思うんですね。観点の中にも、問題を見いだすところから大事にしていくと。問題解決活動を重視して、実験活動を中心に、問題解決能力を高めていこうという観点から見たときに3社それぞれの良さはどんなところですか。</p>
会長	
委員	

副部会長	3社それぞれの明示の仕方がございまして、東京書籍においては、実験・観察の「予想しよう」「観察しよう」「調べよう」「調べ方を考えよう」等の目的があつて、大日本図書は、今度「話合ってみよう」という欄を設けて、実験・観察後の結果を基に考える、最後に、学校図書は、クエスチョンマークで、実験・観察の目的を、はつきり、わかりやすく提示しています。それぞれの会社でオリジナリティ溢れる方法を提示しております。
委員	関連して、第1分野でも、第2分野でも同じような文言で書いていますね。さっき言いましたように、問題を見いだし意欲的に探求する活動を通しながら、だから、通さなくてはいけないんですね。教え込むということではなくて、非常に大事なことだらうと。そして、多様性や規則性を発見し、課題を解決する方法を習得するという、大きな問題解決の方法というか、部分的に目標やめあてを掲げたりだと、実験の仕方を示したり、それぞれの細かい手法などはあつただろけれども、大きな問題解決活動のサイクルから見た時にはどうだらうかと思うけれども。
部会長	大きな差違はございませんけれども、各単元のはじめの部分で、これまで学習したこと、これから学習することなど、それぞれの会社で工夫して示しながら、なるべく日常生活と関連した内容から、子ども達に課題を持たせるような工夫が3社とも感じられます。
委員	3社それぞれの際だつところは、どんなところですか。
部会長	東京書籍では、先程申しましたように、ペーパークラフトというものが、厚紙で巻末にありますが、他の2社には無いところだと思います。大日本図書は、各単元の最後に、終章が位置づけられています。その単元で学習した知識・技能を使って、考えましょうというのは、他の出版社にもあるのですが、こういった形で章の最後に取り上げてあるのは大日本図書だけでした。あと、先程申し上げました、吹き出しのところで、改行の位置を工夫して、特別支援の配慮がなされているのがあります。学校図書は、日常生活との関連、職業との関連など見開き2ページで示してある。他の出版社でも、職業について、いろいろな仕事に関して学んだことを活用されるというのはあるのですけれども、こういった形で紹介しているのは学校図書の特徴だ

	と思います。
会長 委員	他にありますか。 1点目は、大日本図書の内容の範囲及び程度の中で、小学校や前学年の学習内容を示し、他教科との関連を示しているという表現は、大日本図書にしかないのですが、他の会社にはなかったのか。
部会長	「思い出そう」というもののはありますけれども、大日本図書は、具体的に小学校で学んだと、あるいは、この単元で学んだということの明示、あるいは、数学では、例えば、推測というのは、小学4年生で学習しましたと紹介をしてあります。
委員	もう1点、大日本図書の使用上の便宜で、算数や数学の計算の仕方を紹介し、計算でつまずかないように配慮されているとあります。これは、先程おっしゃったことと関連するのですが、理科のいろいろな計算が、なかなかできないこともありますよね。そういうところは、大日本図書はあったんですけれども、他の2社は無いということですか。
部会長	例えば、「速さ」というものを3年生で、運動とエネルギーということで取り上げているんですけども、そこでは、速さは、移動した距離を時間で割るという例題を大日本図書では取り上げています。東京書籍と学校図書は、例題として取り上げているものもございますし、ただ、公式だけで示されているものもあります。
委員	大日本図書の分量のところで、1年104時間、2年134時間、3年133時間として補充学習への余裕があると書いてありますが、補充学習のための教材等は入っているのでしょうか。
副部会長	発展問題は入っています。
委員	関連して、補充できるような内容としては3社どうですか。
副部会長	3社とも巻末には問題はございます。
委員	それは、発展的内容も補充的な内容もありますか。
副部会長	基本的には、まとめということですから、補充・定着ですね。内容的なところで、発展という標記で、途中途中に入れてあります。
委員	それは、配当時間等を考えたら、できるということですね。
副部会長	はい。
委員	全国的に理科離れというのが問題視されていますけれども、子どもが将来に渡って自然に関心を高めていくようなことは見

	られないのか。
副部会長 会長	<p>基本的に3社ともそのような工夫はされています。</p> <p>他にございますか。無ければ、以上で、理科部の答申を終わらせさせていただきます。答申者の方は、大変ご苦労様でした。ご退席頂いて結構です。ありがとうございました。</p>
	(答申者、選定委員長・副委員長 退室)
会長	それでは、一種選定を行います。
	(投票用紙 配布・記入)
会長	よろしいですか。それでは、回収をお願いします。
	(投票用紙を回収、開票)
事務局長	<p>それでは、開票結果を発表いたします。</p> <p>理科教科書は、大日本図書が、過半数に達しておりますので、理科教科書は、大日本図書に選定されました。以上です。</p>
	(音楽選定部 部会長、副部会長 入室)
事務局長 選定委員長	<p>次の教科は音楽です。今村委員長、お願いいいたします。</p> <p>ただいまから、音楽部の選定結果について答申いたします。</p> <p>答申者は、部会長 みやま市立東山中学校 校長 長裕二 副部会長 大牟田市立甘木中学校 教頭 遠藤雅章 です。</p>
部会長	<p>それでは、音楽科について答申いたします。平成28年度使用中学校教科用図書として、音楽2種、器楽2種を選定いたします。</p> <p>私から、歌唱、鑑賞、創作の部分の教科書について、選定理由について、まず、教育出版の「中学音楽 音楽のおくりもの」から説明させていただきます。</p> <p>選定理由の表現領域・鑑賞領域に関して、基礎的・基本的な楽曲から、表現を工夫した楽曲まで、広く掲載することで、全学年を通して、生徒の発達段階に対応しながら、学習指導要領に適した内容となっています。やさしいとか激しい等、音楽の</p>

特徴を文化や歴史、他の芸術と関連づけて理解できるように、日本とアジア、世界の様々な音楽文化を取り上げています。具体的に申し上げると、地域の祭り、アジアにつきましては、インド・インドネシア・中国等が取扱ってあります。教材ごとに共通事項である「活動のポイント」や「用語や記号」を取り上げています。

内容に関する配慮事項では、表現領域では、生徒の実態に応じて表現方法や表現形態の選択が可能なように、複数の歌唱教材が掲載されています。共通教材には我が国で長く歌われ、我が国の文化や日本語の持つ美しさを味わえる楽曲が多く写真や縦書きの歌詞、作詞者の紹介とともに掲載されています。共通教材は全7曲あります。7曲のうち、6曲を取り上げています。ここに、教育出版が取り上げた「赤とんぼ」がありますが、こういった形できれいな写真、縦書きの歌詞とともに情景が浮かぶような配慮がなされています。それから、暮らしの中の音楽やコンピュータと音楽との関わりが紹介され、表現したいイメージを持たせたり、音や音楽と実生活との関わりを理解したりできるような配慮があります。暮らしの中の音楽と申しますと、ポピュラー音楽、ロックやフォークなどを取り上げています。それから、発声や指揮法、創作について学べる教材があり、表現を工夫するための配慮がなされています。

続きまして、鑑賞領域です。我が国や郷土の伝統的な音楽、アジア地域をはじめ、世界の様々な音楽多くの写真とともに掲載され、幅広い鑑賞活動ができる内容になっています。「伝えてみよう」のように言語活動を取り入れた教材が示され、生徒が主体的に学習を進められるような配慮になっています。

分量につきましては、全歌唱教材55、鑑賞教材19、創作教材7と、これは、3冊のトータルでこの数です。授業時数にてらしても、その分量は適当であると考えます。

使用上の便宜ですが、鑑賞曲の貢には、楽譜や写真が豊富に掲載されているとともに書き込み欄があり、また、日本の伝統音楽については、特に写真や解説を多く取り入れています。著作権についても分かりやすく整理しています。発展的な学習内容については、目次や本文タイトルにも明示されています。

印刷・製本につきましては、ユニバーサルデザインに配慮し、印刷も鮮明で、材質についても適切です。

	<p>続きまして、教育芸術社の「中学生の音楽」の説明をいたします。</p> <p>選定理由として、表現領域、鑑賞領域、共通事項に関して、基礎的・基本的な楽曲から、表現を工夫し深く味わっていくことのできる楽曲まで、全学年を通して、学年の系統性、生徒の発達段階に対応しながら、学習指導要領に適した内容となっています。それから、音楽文化に対する理解を深め、幅広く主体的に、関心を持って鑑賞する能力を高めができるよう、我が国の郷土の伝統音楽、ソーラン節や民謡、勧進帳などの長唄の紹介、諸外国の諸民族の音楽など様々な教材を取り上げています。1年生の教科書には、モンゴル・パキスタン等の教材が紹介されています。「音楽学習 MAP」や教材ごとに共通事項に関するアイコンを示しています。この「音楽学習 MAP」というのは、この教科書の特徴的な部分なのですが、目次の次のページに、歌唱教材、創作教材、鑑賞教材というように整理されてあります。学習指導要領に示された、音楽科の学習内容と教材との関係、歌唱と鑑賞の関係が横断的にわかりやすく説明してある。</p> <p>内容に関する配慮事項ですが、1年生は入学して間もない、2年生は中学生で一番飛躍する、3年生は卒業を控えてというようなことで、生徒の心情に合ったという表現をしていますが、それに合った歌詞及び曲調の楽曲が多く記載されています。</p> <p>続きまして、共通教材には、「赤とんぼ」「荒城の月」等、全6曲が紹介されています。先程も紹介しましたが、こちらの方は写真を大きく取り上げています。「ここが分かれば Grade up」、あるいは「Let's Create」のように、言語活動に留意した作業的・体験的な教材があります。</p> <p>鑑賞領域につきましては、日本の伝統的な音楽、アジア地域をはじめ、世界の様々な音楽が取り上げられています。組曲の中から生徒自身が選択して、曲の良さについてプレゼンテーションを行うなど、言語活動に留意した教材が示されています。</p> <p>分量につきましても、そこに示しているとおり、適当であると思います。</p> <p>使用上の便宜につきましても、全ての教材に学習目標と共通事項に関するアイコンが明示されていることで、「何を目標に」「何を学ぶのか」を意識して活動させができるように工</p>
--	--

	<p>夫されています。著作権についても、特集で分かりやすく説明してあります。発展的な学習内容、「この頃の日本では」と、歴史と重ねたようなものなのですけれども。また、「アカペラの語源」等の発展的な部分については、きちんと明記しています。</p> <p>印刷・製本等にも、ユニバーサルデザインで配慮されているんですけれども、少し違うのは、糸綴じ製本になっています。糸綴じ製本というのは、真ん中に糸があって、開きやすくて、演奏したりするときに、戻らない。というところが特徴になっています。</p> <p>続いて、教育出版社の「中学器楽 音楽のおくりもの」について、説明させていただきます。選定理由の5項目について。内容としては、音楽文化、器楽の特徴、教育出版社では名称という形で、器楽の特徴を説明しています。基本の構え方や、基本的な奏法ができるようにわかりやすくしています。和楽器については、5種類を取り上げて、3年間で2種類以上を学習することになっておりますので、適切であると思います。</p> <p>内容に関する配慮事項では、ポイントやねらいというものを短い文章で表現されています。それから、身近な教材ということで、特に、琴の学習では「さくらさくら」という曲を練習する。生徒が正月などによく耳にするということで、身近な曲を使っているということが上げられます。</p> <p>分量としては、それぞれ資料に記入している内容になります。使用上の便宜としては、親しみやすい合奏曲があって、生徒がわかりやすい「カントリーロード」とか慣れ親しんだということで、親しみやすいという表現しております。</p> <p>印刷・製本については、ユニバーサルデザインで、色づかいなど工夫されています。また、吹き出しを使っての説明などが演奏のポイントを目立つ工夫がされています。</p> <p>続きまして、教育芸術社の器楽です。同じく和楽器が5種類と打楽器の紹介があります。音に関連する言葉が、比較的多く使われている。特徴が構造的なものとして捉えてあります。様々な角度の写真を付けて、ポイントを吹き出しにして、また、学習の中ではスモールステップという形の編集の傾向というのを出してあります。それぞれの目次に目標が書いてありますので、生徒が主体的に学習できるための工夫がされていると思いま</p>
--	---

	<p>す。内容については、音楽マップというのがありますて、見通しを達成できるようなものがありますし、Q & A形式の説明があります。</p> <p>分量としては、資料に書いていますが、12種類の打楽器の紹介があります。</p> <p>使用上の便宜としては、ページ毎にそれぞれ目標設定が書いてありますので、このページではこれを勉強するということがわかるようになっています。</p> <p>最後に、印刷・製本は、ユニバーサルデザインに配慮されていて、色づかい等もわかりやすくなっています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま、音楽2種、器楽2種を答申いただきました。それでは、質疑に入りますが、音楽・器楽は一緒に進めたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>どんな楽曲を取り上げているかというのが非常に音楽には大事だと思うけれども、もう少し具体的に説明を聞かせてもらいたいけれども。表現領域で、教育出版社は、生徒の実態に応じてでしょ。複数の歌唱教材が掲載されていると思うけど、次は生徒の心情や発達特性とおっしゃったと思うけれども、1年、2年、3年、そういう面から見たら適切である。ただ、その表現方法が、標記、説明から見ると楽曲が豊かであると受け取るんですが、もう少し説明を加えていただきたい。</p>
部会長	<p>まず、教育出版社ですね。基礎的・基本的な楽曲の例としては、「アニーローリー」とか「エーデルワイス」とか「You can fly！」等があります。表現を工夫して、味わっていくことができる、表現を工夫した楽曲としては、1年生だと「希望という名の花を」とか「四月のいのちの歌」とかがあるのですが、「COSMOS」も1年生で扱われています。「COSMOS」というのは、少々、難易度が高いという報告を受けています。音楽の教諭の立場からすると、「COSMOS」は1年ではなかなか使いにくいということがございまいした。そういうことで、そのような標記にしています。</p> <p>教育芸術社につきましては、歌唱教材の例ということでは、1年生では「主人は冷たい土の中に」とか「朝の風に」とか「夢の世界を」、「時の旅人」、特に1年生では「朝の風に」とか、2年生では「夢の世界を」、「時の旅人」、3年生では「きみとともに」、「風の中の青春」というふうに、その時の気持ち、</p>

委員	心情というか、1年生は1年生らしく、心情的に応援するとい うか、そのように読み取れる楽曲の配列だったということで。 心情に合ったという観点もあれば、ハーモニーとかピアノ伴 奏に合わせられるとか変声期とか、そのような多様な観点から 見たときに楽曲が精選されているというような意味ですか。あ と、細かいことですけど、文量が大分違いますよね。分量的に は、かなり教育芸術社が多いわけですよ。それでも、音楽の時 間は限られてきていると、それでも適切であると考えていいの ですか。
部会長	はい、全ての教材を扱うということではなくて、選択とい うことを考えれば、教育芸術社の方が、数が若干多く、歌唱教材 についても55に対して68ということで、3学年を通して1 3曲差があります。1学年でいうと、教育出版社が18で教育 芸術社が24、2年生は19と21、3年は18と18で、1 年生のところで随分差がでています。
委員	逆に言うと、量が多いということは、選択の幅があるとも考 えられるということ。
部会長	はい。
委員	同じように、器楽でも、楽曲の構成というか、掲載されてい る楽曲については、どちらも良さがあると思うけれども、いか がですか。
副部会長	楽曲についても、全く同じように選択をして、生徒が選べる ような内容のものになっています。
委員	取り上げている楽曲の良さについてはどうですか。
副部会長	難しいんですが、曲想というその楽器に合った曲、またイメ ージできる曲が配列されているという点では、両方とも入れて いると思います。
会長	他にございますか。
委員	鑑賞曲の中で、地元教材というものがありますでしょうか。 例えば、地元の作曲家、作詞家の鑑賞曲は入っているか。小学校 では北原白秋、山田耕作さんみたいな地元のもの、確かに小学校 では入っていたような気がするのですが、中学校のこの2つの教科書の状況はどうなのか。
部会長	一番近いところでは「荒城の月」だと思っていますけれど、 この筑後地区的ものとなると、両方とも扱っていません。
委員	わかりました。器楽で、教育芸術社は打楽器を取り扱ってい

副部会長	る内容が多いと、分量についても 12 種類の打楽器が紹介されていると。この意図と小学校との関連をお尋ねしたいのですが。 おそらく、意図としては、吹奏楽の活動がある学校で主に使っている打楽器が多くた。教育出版社では一切打楽器は載せてませんでした。吹奏楽で主に使う内容のものをあえて載せてある感じがする。
委員	先程の質問と関連するんですが、教材の数ですが、音楽では教育芸術社が多くて、器楽では教育出版社が多い。楽曲の数が力の入れ具合ではないでしょうかけれども、音楽と器楽で力の入れ具合は違うのですか。
部会長	楽曲の数はそうなのですが、教育芸術社の方が、変声期の子どもに配慮したというところで、十分工夫がある。例えば、階名で歌っているところがあって、音符ではなくて、地声で自分のリズムをとるという、キーを合わせるのではなくて自分の声で。そういう意味では、変声期に合わせて選択しやすいようになっていると思います。
会長	他にございますか。無ければ以上をもちまして、音楽部の答申を終わらせていただきます。お二人の先生、ありがとうございました。退室頂いて結構です。 併せて、委員長さん、副委員長さんも退室をお願いします。
	(答申者、選定委員長・副委員長 退室)
会長	それでは、1種選定に移らせていただきます。
	(投票用紙配布・記入)
会長	よろしいでしょうか。それでは、回収をお願いします。
	(投票用紙を回収、開票)
事務局長	それでは、開票結果を発表いたします。 音楽教科書は、一般は教育芸術社が、過半数に達しておりますので、音楽一般の教科書は、教育芸術社が選定されました。 続きまして、器楽の教科書も教育芸術社が、過半数に達しておりますので、器楽の教科書は、教育芸術社が選定されました。

	<p>以上です。</p> <p>(美術選定部 部会長、副部会長 入室)</p>
事務局長	<p>それでは、次の教科は美術です。今村委員長、お願いします。</p>
委員長	<p>ただいまから、美術部の選定結果について答申いたします。</p> <p>答申者は、部会長 大牟田市立大牟田特別支援学校 校長 西田雅子、副部会長 大牟田市立白光中学校 教頭 城崎清彦です。</p>
部会長	<p>失礼します。美術部の教科書について答申致します。美術科は3社から、開隆堂、光村図書、日本文教出版の3種を選定しました。</p> <p>まず、開隆堂の選定理由からです。</p> <p>内容の範囲及び程度につきましては、「表現」と「鑑賞」の領域を分けないことで、指導者の工夫によって多様な学習過程の展開ができるようになっています。</p> <p>次に、配慮事項につきましては、生徒による作品の解説を掲載して、発想や構想の段階で考えをまとめたり、作品を批評し合ったりできるような言語活動の工夫が見られます。また、日本の美術作品を多く掲載し、我が国の伝統文化の尊重や郷土を愛する態度の育成について配慮が見られます。基礎的な技能や効果的な道具の使い方を示して、基礎・基本の定着と安全面に配慮した内容になっています。</p> <p>使用上の便宜につきましては、「美術1」と「美術2・3」の2冊構成になっており、一部原寸大の参考作品を掲載し、細かい部分まで見ることができるよう工夫されています。</p> <p>印刷・製本につきましては、紙質が柔らかく、ページがめくりやすい。また、反射が少なく、画像が非常に鮮明です。</p> <p>次に、光村図書に移ります。内容に関する配慮事項として、題材や活動において、生活との結びつきが意識されており、身につけた力を日常生活や将来において生かすことで、暮らしや社会を美しく豊かにすることを実感できる配慮が見られます。また、「作者のことば」を掲載することで、発想や構想の手助けをし、自らの考えを組み立てるなど言語活動の充実に向けた</p>

	<p>構成になっています。日本の美術作品を多く掲載し、伝統文化の尊重、郷土を愛する姿勢を育成できるようになっています。</p> <p>「表現」「鑑賞」どちらの題材においても「共通事項」に関する問い合わせがあり、相互関連を図っています。刃物の扱い方など、安全面への配慮も見られます。</p> <p>使用上の便宜としましては、美術1、美術2・3の二冊構成です。原寸大、大型図版を採用しており、左端にスケールをつけて一点の作品を細部まで鑑賞できるようになっています。独自に開発した書体、明朝体を使用し、ふりがなが多く付されているので読みやすくもなっています。</p> <p>印刷・製本につきましては、全体的に落ち着いた色調で、原色を忠実に再現しています。</p> <p>最後に、日本文教出版です。</p> <p>内容に関する配慮事項として、「学びのねらい」「POINT」「作者の言葉」等が整理されて載せられています。「共通事項」、言語活動の充実、道徳との関連性などに配慮が見られ、それぞれにマークが付されております。言語活動につきましては、生徒による自身の作品についての解説があり、言葉で伝え合うなど言語活動の充実が意識されています。日本と日本以外の作品とを比較しやすい構成になっており、他国の文化や国際理解の態度を養う内容にもなっています。刃物の使い方と安全面への配慮も見られました。</p> <p>使用上の便宜につきましては、三冊構成になっています。生徒の制作の様子やアイデアスケッチなどを掲載し、題材の参考例が非常に豊富です。</p> <p>印刷・製本につきましては、本のサイズがA4ワイド判になっておりまして、図版が見やすい。伝統芸術の見開きページでは和紙が使用されており、手触り、質感からの鑑賞活動ができるようになっています。</p> <p>以上で、答申を終わります。</p>
会長	ありがとうございました。美術3種の答申いただきました。
委員	続いて、質疑に入ります。何か質問はございませんか。

美術における学びは、子ども達にとってわかりやすいというのが大事なことだと思います。そこで、日本文教出版には、内容に関する配慮事項の、例えば「学びのねらい」。それから開隆堂では、「学習のねらい」とか「学習の振り返り」を示して

	評価の観点を明確にしているとあります。光村図書には無かつたのかお聞かせ願いますか。
部会長 委員	最初の部分に目標についての明記があります。 使用上の便宜のところで、日本文教出版は巻末資料が充実しているということで、このことは大事だと思うのですが、他社はどうですか。
副部会長	特別大きな差はなかったと思います。ただ、途中出ましたけれども、版が大きいこと、3冊構成になっておりますので、資料もその分多くなります。2冊だと2冊分の巻末資料、3冊だと3冊分の巻末資料となると思います。
委員	美術の教科書は、視覚に訴えるから、大きさというのは非常に大事な気がしますね。それと関連して、発達段階の題材、資料が充実しているのは3社同じなのですが、日本文教出版には系統立ててということをあえて書いてあります。それは、どういうところかお聞きします。
副部会長	どの教科書も同じなのですが、1のところ、ここは小学校との接続が必ず出てくるところですけれども、特に日本文教出版の場合は、丁寧に、小学校で学んだことは図画工作、中学校では美術。どういうところが違うのかどういのをわかりやすく書いてあるということで、生徒の立場からすると、何で中学校では美術なのかというのが理解しやすいのではないかと思います。
委員	それは、繋ぎの部分ですね。1年生、2年生、3年生とあえて3冊になっているのは、資料の豊富さもあるだろうけれども、発達特性というか、そういうところも考えてあるのかなと思って尋ねてみました。
副部会長	同じように、それぞれの最初に、3冊になっていますので、1の場合だと、新しい教科美術との出会い、2冊目だと美の深まり、中学生になりますと写実的表現要求の高まりですとか、小学校では見られなかった部分があります。そして3年生では、それを自分の表現として探求していくことが大切となります。
委員	もうひとつ、折り込みが、どこにもありましたけど、その折り込みの量についてはどうですか。
副部会長	折り込みの量自体は、そう差は無いのですが、先程大きさの話が出ましたけれども、本が大きいとどうしても迫力がある、アドバンテージがあるというか、おっしゃられたように迫力が

	どうしても目から入るということで、そういう面はあるかと思います。
会長 委員	他にありますか。
副部会長	言語活動をする場合において、光村図書が作者の言葉を提示することによってと書いてあって、あの2社は生徒による作品の提示で持って言語活動をしていくということになっていますが、実際その逆パターンはあるのか、ないのか。
	それぞれ、そのように書いておりますけれども、全部ではありませんが、最近の特徴として、以前は生徒の作品が参考作品ということで、それだけだったんですけれども、3社ともところどころで作った生徒の感想文、作者の言葉もそれに載っています。その量、作り方も違います。ただ、それが意図しているのは同じようなところで、生徒の言葉、作家の言葉もそうなのでしょうけど、表現の鑑賞というのがあります。表現の場合には、自分の考えを組み立てたりだとか、イメージを加えたりする。そのような時に、美術科としての言語活動にあたる。その時に、作者は何を考えたのかとか同じ年頃の生徒はどんな気持ちでこれを書いたのかというのは、生徒に非常に刺激を与えることになると思いますし、一方の鑑賞の分野におきましても、そういうスケールを持って人の作品を見ればいいのかということに気付くというか、分り易くていいのではないかと思います。
会長	他にございますか。無ければ、以上で美術部の答申を終わらせていただきます。お疲れ様でした。ありがとうございました。
	(今村委員長、境副委員長 部会長、副部会長 退出)
会長	それでは、選定に移ります。投票用紙の配布をお願いします。
	(投票用紙配布・記入)
会長	それでは、回収をお願いします。
	(投票用紙を回収、開票)
事務局長	それでは、開票結果を発表します。

	<p>美術教科書は、日本文教出版が、過半数に達しておりますので、美術教科書は、日本文教出版が選定されました。以上です。</p>
事務局長	<p>それでは、ここで休憩をとりたいと思います。15分程休憩をとって、35分から始めたいと思います。</p>
(休 憩 ・ 再 開)	
事務局長	<p>それでは、次の教科は保健体育になります。今村委員長お願い致します。</p>
選定委員長	<p>ただいまから、保健体育部の選定結果について答申いたします。</p> <p>答申者は、部会長 大牟田市立橋中学校 校長 石橋宏宣 副部会長 柳川市立柳城中学校 教頭 本村晃一 です。 よろしくお願ひします。</p>
部会長	<p>それでは、説明させていただきます。平成28年度使用中学校教科用図書として3種選定しております。東京書籍、大修館、学研教育みらいを選定いたしました。それぞれについて、その主な選定理由を述べさせていただきます。</p> <p>初めに、東京書籍からです。どの教科書も、内容の範囲及び程度については、学習指導要領に示されている内容となっております。東京書籍の場合は、生涯スポーツの観点から、多様なスポーツの紹介と意義・必要性が盛り込まれています。ここで言う生涯スポーツの観点とは、生涯に渡って健康保持、増進し、豊かなスポーツライフを実現するということです。運動やスポーツの多様性、運動やスポーツが心身の発達に与える効果や安全などについて取り扱われています。</p> <p>内容に関する配慮事項としまして、口絵が豊富で、スポーツや健康・安全を支える人々をクローズアップしています。ボランティアとかトレーナーとかコーチとかを紹介しています。スポーツが多くの人々から支えられていることを認識させるよう工夫しています。また、同じく口絵の中で、自然災害の項目では、時事的な写真を取り入れ、災害とボランティアの重要性を訴える内容が掲載されております。生徒に強いインパクトを与える工夫がされております。それから、キーワード、ポイント、他教科との関連、他ページとのリンクなど、他との関連を持た</p>

せて学習できるように配慮されております。索引とか項目数など非常に多く上げられております。各章のおわりに「確認の問題」や「活用の問題」「学習のまとめ」を設け、自己評価したり、学習した知識を日常生活に生かしたりする工夫がなされております。「教科書の使い方」や「学習方法」について丁寧に説明がしてあります。特に最初に、教科書の使い方について、両面を使って、丁寧に説明がしてあります。運動と栄養との関係から、食に関する関心を高める工夫もされております。東京書籍で特に強調されていたのは、「高等学校で学習すること」を各单元に上げておきまして、選定の観点の中にも上げられておりますので、非常に配慮されていると思います。

分量につきましては、体育分野の体育理論、保健分野につきまして確実に確保されております。

使用上の便宜としましては、キーワードが詳しく、必要な事項の学習がより進むと考える。これにつきましては、キーワードを上げる教科書は多いのですが、巻末にキーワードに関する説明を詳しくしております。

印刷・製本につきまして、特に問題となるようなことはございません。教科書のサイズが普通のサイズよりワンサイズ大きくなっています。これが、東京書籍の特徴としてあげております。

続きまして、大修館でございます。大修館でも、東京書籍と同じように、内容の範囲及び程度については、学習指導要領に沿った内容になっております。見開いた時の見やすさが、とてもシンプルで見やすくなっております。運動やスポーツの多様性、運動やスポーツが心身の発達に与える効果や安全などについて取り扱われております。

内容に関する配慮事項では、同じように、口絵の部分で写真を取り上げておきまして、東京オリンピック・パラリンピックを取り上げております。また、自分の成長と運動やスポーツの広がりなど、生涯にわたってスポーツに親しむことを考えさせようとしているということでは、自分の将来のスポーツライフを考えてみようということで、ノーベル生理学医学賞を受賞した京都大学の山中先生の中学生の頃からのスポーツライフを取り上げております。このようなのは、生徒が関心を持つのではないかと思います。更に、自然災害面では、支援・復旧・復興

ということで、消防・警察の救助活動や自衛隊、海上保安庁の災害派遣やボランティアによる被災者支援などを分けて、台風とか火山噴火、竜巻、集中豪雨などを取り上げ、非常にわかりやすく見ることができます。近年の健康問題や、中学生の理解を助ける興味深い話を、コラムや事例として掲載しています。口絵にありますが、喫煙、飲酒、薬物など、身体への悪影響について、写真で大きく取り上げて、肺と肝臓と脳の変化を載せています。これは、教科書の中で取り扱うというより、戻ってこういうページを紹介するのも、非常に役立つものと思います。学習活動の流れに沿って内容が構成されています。1ページの中に、導入、展開、まとめの流れ。「活用」や「実習」の項目を設定されており、知識を活用する学習活動となっています。実習では、全ての単元を取り上げているわけではありませんが、例えば、怪我の応急手当等では、このように三角巾を使いましょうとか、添え木の仕方とかを取り上げて、では実際にやってみようとか取り上げられています。

分量につきましては、体育分野の体育理論、保健分野とも適切な分量となっております。索引も375と非常に多く取り上げております。

使用上の便宜としましては、特に、各章ごとにコラムや事例を入れ、学習への手助けをしています。どうしても読むばかりでは飽きてしまうことがありますので。

最後に、学研教育みらいです。

内容の範囲及び程度については、同じです。今日的な課題も取り上げて、生徒の興味・関心を高める内容となっております。

内容に関する配慮事項では、各章の始めに領域と関係のある「ひと」や「職業」を紹介しております。もうひとつは、体系的なものを強調するということで、小学校で学習したこと、高校で学習することの関連を、各章のはじめに記載しておりますので、振り返ったり、繋げたりすることができるようになっています。章末には「探求しよう」「章のまとめ」を配し、学習の振り返りや発展的な学習を行わせる。また、テスト形式の問題で、学習内容が確認できるよう構成されています。今まで教科書では、問題を書く欄があって、別冊でテキスト等を購入していたわけですが、それが教科書の中で、問題が章のまとめとして出されておりますので、生徒に記入させながら、授業を

	<p>振り返り、基礎・基本的なことを確認することができるという工夫がされております。学研の特色としましては、たくさんのマークがあります。キーワードとなるような、コラム、リンク、探求、実習等、細かく分けてあります。それを見ると、自分がいろいろ考えたことなどを探していくことになります。実技の動きを示す部分には、写真を多く取り入れてありのが特色です。</p> <p>分量については、先程の2社と一緒に、体育分野の体育理論、保健分野とも。索引の数は一番多くて437語、これが多いことで、他教科とか日常生活との関わりとかに興味・関心を持つことのできる内容になっております。</p> <p>使用上の便宜につきましては、適切であるということです。</p> <p>印刷・製本等も、特に写真がきれいですね、イラストも配色が多くなっています。</p> <p>以上3社を選定させていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。只今、保健体育3種答申いただいたところです。続いて、質問の時間に入ります。質問のある方はお願いします。</p>
委員	<p>お疲れ様です。保健分野の観点に、健康の自己管理、セルフコントロールを上げてありますよね。これは、健康のみならず、生徒の基本的な生活習慣の安定だとか、学習や生活への意欲とかの基盤になりますよね。こういう、保健分野で学習していくて、教科書はそれを使うとなったときに、それを促すというか、後押しするような観点からみたときに3社どうですか。</p>
部会長	<p>例えば、学研の食生活と健康だと、日常生活の中で使うような給食、食事のこと、運動のこととか、イラストと具体的に書いてありますね。適切な食事とかいう表現ではなく、ハンバーガー、フライドポテト、コーラについて考えてみましょうとかがあります。日常の学校生活でいろいろ問題となったり、課題となるものを考えてみたらどうかと、そのページを開かせてみるとか、3社ともほぼ一緒だと思います。ただ、教科書によつては力の入れどころは若干違います。中学生の日常生活については、非常に細かく、具体的に記載されています。パンのエネルギーが何キロカロリーだとか、ご飯との比較とかポテトチップとかとの比較とかも載っております。</p>
委員	<p>そういう事象を取り上げて、言語活動を介入させるかどうか</p>

	は置いておいて、そういうことに関心を持って取り組まないといけないと、そういう意欲までというか。そういう構成、内容を心がけている点ではどうですか。
部会長	ほぼ一緒です。ただ、熱中症とかで言いますと、例えば、大修館の場合は、他の教科書では、熱中症に注意しましょうくらいはあるのですが、この教科書は具体的に。あと2社にも詳しく書いてあるのですが、特に大修館は詳しく熱中症について、対応の仕方とか、救急車を呼ぶ流れとか書いてあります。学研は応急処置を載せていますね。
委員	当然、言語活動というのは、保健体育の場でも考えられるのですが、学研の教科書では、配慮事項の中に、生徒が答えたり、話合ったり、さらに深めあつたりというのが入っていますが、他の教科書では、そういった話合いの場などに関することがあまりないような気がするのですが、それについてはいかがですか。
部会長	それについては、両方あります。「考えてみよう」などを、班で考える、みんなでまとめて考えてみようなどですね。そして、「記入してみよう」という欄が設けてあったり、学研の方はまとめてある。東京書籍だと、保健体育の学習法の中に、ブレインストーミングとかロールプレイングなど、課題学習、学習の進め方も書いてありますので、単元によっては、先生がこれやってみようかということはできます。黒板に紙を貼らなくとも、これを見せて、この単元については、ブレインストーミングしてみようかと。そういう工夫は、前回の選定と変わって、前回より非常に配慮されているなという気はします。どの会社も良くなっていると思います。
委員	私も今の箇所の質問だったのですが、思考力・判断力の育成ということが書いてあったので、他社はなかったのかなと思いましたので。もう1つ。東京書籍には、食に関する関心を高める工夫と強調されていますが、他社はどうなのか。
部会長	東京書籍を上げたのは、見開きであったからです。学校側から見たら、インパクトが強かつたみたいですね。運動やスポーツと食事について、東京書籍は両面でスポーツ選手のことが書いてあって、これを見るとなるほどなど。他社はそこまで強調してはないのですが、無いということではない。
委員	内容としては入っているが、強調されているという部分です

	ね。
会長 委員	他にありませんか。
部会長	今の社会問題でもある、思春期の子ども達、自分の身体の成長、周りの子ども達の成長も含めて、それと自分の心のモチベーション。それらの配慮について、3社いかがですか。
	比較して特にどこがということないですね。
	取り上げていることは、それぞれ取り上げている。例えば、自分も相手の基本の違いにより、上手な断り方を考えようとか、考えさせて答えを書かせる。これは大修館です。どの会社も活用のところで、考えさせる部分があります。あと、身体のことですが、特に、中学1年生ですと性器の取り扱いですね。そこは、隠さないではっきりと書いてあります。ただ、生徒がふざけ半分で見るような内容にはなっていなくて、きちんと用語なども付けてありますので。3社ともほぼ似通っているということです。
副部会長	若干の色のバランス、濃いさという違いはあります。
会長	他にありますか。無ければ、以上で保健体育部の答申を終わらせさせていただきます。お二人の先生方、大変ご苦労様でした。
	(保健体育選定部 部会長、副部会長 退出)
	(今村委員長、境副委員長退出)
会長	それでは、投票用紙の配布をお願いします。
	(投票用紙配布・記入)
会長	回収をお願いします。
	(投票用紙回収・開票)
事務局長	それでは、開票結果を発表します。
	保健体育教科書は、学研教育みらいが、過半数に達しておりますので、保健体育教科書は、学研教育みらいが選定されました。以上です。

	(技術家庭選定部 部会長、副部会長 入室)
事務局長	<p>次の教科は技術家庭です。今村委員長お願いいたします。</p> <p>ただいまから、技術家庭部の選定結果について答申いたします。</p>
選定委員長	<p>答申者は、部会長 柳川市立昭代中学校 校長 丸山昌彦 副部会長 みやま市立瀬高中学校 教頭 藤丸浩一 です。</p>
部会長	<p>失礼します。技術・家庭科の教科用図書選定につきまして、選定部会からの報告をさせていただきます。まず、提出しております報告書様式1-4につきましては、技術分野3社3枚、家庭分野3社3枚、計6枚を提出させていただいております。ただし、3社選定となっておりますけれども、技術家庭科においては、東京書籍、教育図書、開隆堂の3社のみとなっておりますので、それぞれの教科用図書の特色、特徴を中心を選定理由としているところです。</p> <p>まず、3社の共通点としまして、当然のことですけれども、学習指導要領に対応した構成、あるいは、適合した内容となっているということです。また、3社とも写真・イラスト・冊子等を豊富に取り入れて、生徒の興味・関心を高める工夫をして、中学校3年間を見通した構成、また3年間の使用に耐えうるような印刷製本がされています。更に、3社とも言語活動の充実に配慮した編集となっておりまして、思考力・判断力・表現力を育成する上で使いやすい内容になっていることなどが、共通の事項として上げられます。</p> <p>それでは、各社毎の特色や特徴、工夫点などについて、順番に簡潔に説明していきたいと思います。</p> <p>まず、東京書籍につきましては、サイズが両分野ともA4判で製本されておりまして、他の2社よりも横幅がやや大きいサイズとなっています。そのために、写真やイラスト、挿絵などが豊富に記載され、生徒の興味、関心を更に高めたり、技術分野では、作業の流れだとか、家庭科では調理実習の手順とか、このように横に見やすく、見開きしながら、見やすく編集をしています。技術分野では、特に育成したい学力が身につくような、次の5つの基本方針を上げて編集しています。「学びやすく、教えやすい」「基礎的・基本的な知識・技術が身につく」「生活を工夫し創造する能力を培う」「主体的な問題解決能力</p>

を育む」「今日的教育課題に対応している」というのが大きな特徴となっています。また、本文中には、いろいろなマーク、小学校との関連を示すマークであるとか、他教科との関連を示すマークなどの17種類が挿入されて、学習効果を高める工夫をしたり、学習した内容を強化、活用ができるように、各編の最後にワークシートのページを設けたり、同じように、家庭分野でも学習のまとめ等を設けて、学習した内容の復習に役立つようにしたり、実習例をより多く紹介したりして、体験的な学習につながる工夫をしています。

次に、教育図書についてです。技術分野につきましては、学習への興味や関心を高めるための、製作題材を数多く取り入れていることが、特徴としてあげられます。また、ガイダンスの中では、「人類は技術とともに進化してきた」という題材をつけて、「優れた材料が優れた製品をつくる」「製品を正確・精密につくる」「自然と調和し自然に存在しないものを設計する」「技術の発達が環境を解決する」「信頼性を問われる製品」「複雑さを極めるものづくり」という見出しで、これから学習する内容の理解、あるいは、これから見通しを立てやすくしています。内容に関しましては、生物育成に関する技術に特に重点を置いて、栽培方法、あるいは、栽培期間の異なる題材を数多く取り上げ、学校の実態に応じて題材を選べる工夫をしています。例えば、ミニトマトの栽培例を教科書約10ページに渡り、非常に詳しく取り上げています。このようにして、基礎的な知識や技能が身につくような内容になっています。家庭分野では、基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容へと系統的に展開されています。各章の初めに、「自立度チェック」とか、項の最初に「クエスチョン」を設けて、自己評価をしたり、興味、関心を高める工夫をしています。また、各項の中に、「やってみよう」、「考えよう」、「話し合おう」、「調べよう」など、学習活動の導入や終末段階で活用できる課題を提示しています。さらに章の最後には、「学習のふり返り」として学習をまとめ、学習内容を今後の生活に生かす工夫をしています。

最後、開隆堂についてです。技術分野につきましては、ものづくりなどの実践的、体験的な学習活動を豊富に掲載し、生徒に実態に応じた学習活動ができるよう編集されています。また、表紙とか裏表紙にあるように、様々な技術に関する職業の理解

	<p>を通して、職業観、勤労観を育み、勤労を重んじる態度を育成できるよう配慮しています。使用上の便宜では、各ページの最初に、学習目標を示したり、発展、豆知識、参考、ふり返りなど14種類のマークを用いたりして、学習を高める工夫をしています。教科書の学習のまとめの中で、学習を振り返るだけではなくて、生活に活かそうとする項目を設けて、生活の課題と実践を結びつける工夫をしていることが上げられます。家庭分野では、基礎的・基本的内容から、応用・発展的な内容へと系統的に展開されています。実習例を数多く掲載し、日常生活に則した課題学習に取り組みやすいように工夫しています。見開きで日常生活に則したという部分で、果物とか野菜とか魚とか実物大の写真を掲載しているのが特徴的です。また、環境保全、循環型社会などの認識を深めるために、持続可能な社会に視点を向けた内容を取り上げ、「もったいないキャンペーン」についても触れています。使用上の便宜としては、「やってみよう」「考えてみよう」「話合ってみよう」など、いろいろなマークを用いたり、ページの下に「豆知識」という欄を設けて、学習効果を高めたり、生徒の知識を広める工夫をしています。以上で報告を終わります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま、技術分野3種、家庭分野3種を答申いただきました。質疑に入らせていただきます。</p> <p>先に技術分野に限って質問を受けましょうか。よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>仕事の楽しさとか、完成する喜びとか、仕事に直結するということではなくて、子ども達、生徒が、自分達の生活を豊かにしていくような、それを進んで取り組むような、そういう、楽しさを味わせたりとか、或いはそれを活用していこうという意欲とか、そういうものを行動させるという観点から見たときに3社どのように違いますか。</p>
副部会長	<p>3社とも基本的には、課題解決、そして日常生活の中で活かすような意欲まで高めるのがこの教科の目標です。共通して3社とも課題解決学習の流れに沿った形で、そういう楽しさ、喜び、意欲というものは十分身につくように工夫しております。</p>
会長 委員	<p>他にありますか。</p> <p>開隆堂には、技術分野も家庭分野も「持続可能な社会」というキーワードが入っているんですけども、他の2社は入って</p>

	ないのですか。
副部会長	環境社会というところで、いろいろな資源、金属であったり、化石燃料であったりとか、そういうものを循環させていかないと枯渇してしまうというところは3社ともあります。環境教育という視点ではきちんと書いてあります。ただ、言葉として、「持続可能な」と強調しているのには差があります。
委員	「持続可能な」というのは、開隆堂さんだけということですね。
副部会長	言葉としてはそうですね。
会長	他にありませんか。
委員	技術分野でのロボットの取り扱い方は、それぞれ違いますか。
副部会長	基本的には、技術は人間とロボットのすみ分けということで書いています。結局、ロボットに任せていいところと、人間が堕落してしまうので、任せていけないところと、人間とロボットがいかに共存していくかというところで書いてあります。非常にその部分については、どの教科書会社も力を入れているところです。
委員	よろしいですか。情報モラルについて、聞きたいのですけれども。この4年間で情報モラルについては、随分中学生を中心に、小学生もそうなのですが、学校での指導の徹底といいますか、内容面を含めて、3社の中で、現行より色濃く取扱われているなということは感じられますか。
副部会長	おっしゃられているとおりで、今LINEというものの、パケット型のスマホとかというものは日進月歩といいますか、秒進分歩の状態ですので、そのあたりの書きぶり、重みを付けると言いましょうか、最新の機種を出しているとか、最新の危険性とか若干の差はあるんですけど、ほぼ3社とも差はない。むしろ教科書の方では載ってなくても、新しい技術が開発されて、それを補足する教材は必要だとは思いますが、いかに人間の日常モラルが情報モラルの度合いになっているかを押さえたいと思います。
委員	力点を置かれている部分で、教育図書でしたか、生物育成に関する技術に力点を置くという説明がありましたか、他社はどうなのですか。
副部会長	例えば、東京書籍についても、生物育成に関する技術は植物の部分がほとんどです。飼育の部分も扱えるのですが、それにについてもページも割いていますが、これは3社とも共通です。

	扱っている題材もほぼ似ております。
委員	家庭科で、開隆堂さんの共生社会・男女共同に関わる記述があるとありますが、男女共同参画に関することかなと思うんですが、他の2社には記述されていないのか。男女共同参画について。
副部会長	それは間違いなくあると思います。
会長	他にございますか。 無ければ、以上で、技術家庭部の答申を終わらせていただきます。お二人の先生方、ご苦労様でした。
	(今村委員長、境副委員長 部会長、副部会長 退出)
事務局長	只今から、選定のための投票用紙を配布しますので、各自が選定された教科書に○印を付けて、投票して下さい。
	(投票用紙配布・記入)
会長	それでは、投票用紙の回収をお願いします。
	(投票用紙を回収、開票)
事務局長	それでは、開票結果を発表します。 技術教科書は、開隆堂が、過半数に達しておりますので、技術教科書は、開隆堂が選定されました。 続きまして、家庭教科書は、東京書籍が過半数に達しておりますので、家庭教科書は、東京書籍に選定されました。以上です。
	(外国語選定部 部会長、副部会長 入室)
事務局長 選定委員長	最後の教科は外国語です。今村委員長よろしくお願ひします。 ただいまから、外国語部の選定結果について答申いたします。 答申者は、部会長 柳川市立三橋中学校 校長 境宏文 副部会長 大牟田市立歴木中学校 教頭 松尾直子 です。 よろしくお願ひします。
部会長	それでは、最後になりましたが、外国語の部会では6社の教

科書がございましたけれども、その内の3社を選定いたしました。東京書籍、開隆堂、三省堂の3社です。その3社について、答申書に沿って答申させていただきたいと思います。採択の観点として、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つの技能を総合的に指導して、コミュニケーション能力の基礎を養うということが書いてございますし、英語を使って自分の考え、気持ちを伝えたり、自ら考えて言語活動を行う、言語活動を力点に置いて、採択の観点が書かれていますし、外国語、英語というのは、言語活動そのままでございますし、言語活動に力点を置いて説明していきたいと思います。現在の英語教育の流れの中で、英語力調査などを見ますと、話す項目、書く項目に課題があると言われておりますし、技能統合型の言語活動、又は言語活動の指導が十分できていないということが言われております。それが、今回の教科書では、4つの技能を統合して学習するような作りになっております。3種選定しておりますけれども、3社ともそのような技能を統合したような教科書になっております。あと、キーワードとして、英語学習することによって、どんなことができるようになったかと、いわゆる CAN・DO リストというのが今英語の中では話題になっておりまして、高等学校では既に各学校 Can・Do リストをつくっております。中学校においては、まだ少ないんですけども、Can・Do リストもこれから重要になってくるのではないかと思っております。

ここで第1社目、東京書籍の教科書です。東京書籍の教科書では、言語活動については、どの教科書も同じなのですが、プレゼンテーションという名前を付けまして、1年間で3回出できます。1年生の例を言いますと、Lesson 1から4まで終わつた段階で、プレゼンテーション1「自己紹介」という形で、4つ勉強してプレゼンテーション1をする。その後5から勉強してプレゼンテーション2という形、これまで勉強したことの活用、応用する形で勉強しようと、学期末あたりにすることになろうかと思います。プレゼンテーションがどのようになっているかと言いますと、1年生の1回目では自己紹介をしようとなつておられておりまして、例文がここにあります。2つの例文がここにあって、これを参考にしながら、Lesson 1から Lesson 4で学んだものを使いながら、自分で書いて発表しようと、

「読む」「書く」「話す」「聞く」を統合的にやるようになっています。この2ページで4つの技能を総合的に指導していくというようにこの東京書籍の Horizon ではこうなっています。これは、言語活動の東京書籍の取り扱い方です。次に、小・中の接続ということで言いますと、東京書籍は、小学校で勉強しました Hi Friends によく似た作りをしておりまして、小学校で勉強したことの復習するような形で、最後は Can を使って、「自分は～できます」と小学校でも使いますので、小学校でやったことを最初に復習するような、よく似た作りになっておりまして、次に文字に入って行くわけですが、小学校で勉強したことがそのまま活かされて、スムーズに文字に入れると思います。

3つ目のキーワードであります Can Do リスト。この東京書籍の Horizon には Can Do リストというもの、まとめたものはありませんけれども、各単元の最初、Lesson 1 では自己紹介をしよう、その後、自己紹介をすることができるとか、相手のことについて尋ねることができるとか、ここに目標が書いてあります。これら、Can Do リストはありませんけれども、こういうところで紹介されています。

次は、開隆堂です。言語活動については、マイプロジェクトという名前で付いています。ここも1年生では、4課勉強してマイプロジェクトが1つというように、東京書籍と同じように3つのマイプロジェクト、3つの統合型の学習があります。ここも、1年生の最初のマイプロジェクトでは、自分のことを話そう、自己紹介ですね。ここも2つの例文が示されていまして、1課から4課まで勉強したことを復習しながら、同じような内容を言うにしても、2つ以上の表現の仕方が使ってあります。3ページ目になると、どんな話題について書こうかということで、自分で話題を選ばせるというような選択肢があります。そこで、4ページ目に実際自分で書いてみようということになっています。行動という文字が入っていまして、グループの友達の原稿を読んで、お互いにアドバイスをしましょうと。みんなの前で発表する前に、一度グループでやりましょうと、そして、お互いにアドバイスをしたりするようなことをしまして、最後にみんなの前で発表しようと、そして評価の観点までここには書いてありますが、発表を聞くだけではなくて、どういう観点で聞いたらいいいのかというところまで、4ページに渡り非

常に丁寧に作ってあるなと思います。Can do リストについては、先程と同じように単元の最初に、例えば Lesson 1 でしたら、自分の名前を言い、相手の名前を言えるようにしようというように、同じように書いてあります。さらにこの教科書が違うところは、巻末に Can Do リスト、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の 4 つの技能の can do リストが載っています。ピンクが 1 年生、ブルーが 2 年生、グリーンが 3 年生ということで 3 年間の見通しが 1 年生の時から見れると、同じものが 2 年生の教科書にもありますし、3 年生の教科書にもついています。ここにチェック表がありまして、4 月、9 月、12 月、3 月と、4 月の段階ではこれが出来た、9 月の段階ではこれが出来たというようなチェックをする欄もありますので、Can Do リストについては、いい方ではないかなと思います。

最後に、小中の連携の部分については、これもカラーの絵を使いながら、小学校で勉強したことをやっておりまして、アルファベットの練習とか、音ですね。大文字・小文字のつながりなどわかりやすく書いております。先程の東京書籍とかわらなりくらい、10 ページありますのでかなりの量を取扱っていると思います。

最後に、三省堂の教科書です。三省堂もプロジェクトという名前で自己紹介をしようとなっています。どの教科書も自己紹介をしようということになっていまして、まず、1 つの例文が出ています。次に聞くという内容で、聞いた内容を理解する。3 番目の項目で、自分のことを書きましょう。最後に、発表して話すということで 4 つの機能をこの 2 ページの中で勉強していくという形になっています。それから小中の繋がりにおいては、これも小学校の学習をそのまま復習をするところから始まっています。ページ数は 8 ページと若干少なくはなっておりますが、必要なことは入っているなど、文字とつづりと音の方も入っておりますので、ページ数の若干の違いはございますが、どの教科書も同じような内容になっていると思います。Can Do リストについては、この教科書は、巻末に 4 つの技能について 1 ページに簡潔にまとめてあります。1 年生、2 年生、3 年生それぞれにあります。それと、単元の最初に、この単元で学ぶことが書いてあります。それと、挨拶の仕方を知るとか、文法的な表現はこういう内容ですよ、自己紹介をしたり気持ちを伝

	<p>えたりすることについて、題材、ポイント、生徒の活動ということで、Can do リストは簡単ですが、単元の最初に書いてあるということです。</p> <p>言語活動、Can Do リスト、小中連携の3つの観点のみをお話ししましたけれども、どの教科書も言語活動については、今までの読む、聞くだけではなくて、発信する、書く、話すなどを重視した形になっているのではないかと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。外国語3種答申いただきましたので、質疑に時間に入らせていただきます。</p>
会長 委員	<p>言語活動の提案・説明があったように、言語活動そのものですからね。ペーパーで頂いているものを見ると、もっと全体的に見たときに、具体的な場面や状況に合わせ、適切な表現を自ら考えるということから考えた場合には、教科書全体を見たときに、それぞれの特色とか良さとかはありますか。</p>
副部会長	<p>まず、一つ一つの単元につきましては、それぞれ特色を持って4つの機能を総合的に、最終的には基本的な活動については仕組まれていると思いました。今言われた言語活動については、こういう場面で、何を、どのように言つたらいいのかというのを判断してやるという活動が、それぞれの「Presentation」「My Project」「project」に書かれているものだと思います。例えば、先程、言語活動のトピック、流れとしては、1学期に3つか4つの単元を勉強します。そこで勉強した内容を総合的に使って、例えば自己紹介、前後を活用した発展活動を行うということが、一番言語活動で要求されているものだと思います。</p>
委員 副部会長	<p>いろいろなテーマを多様性から見た時はどんな感じですか。</p> <p>多様性については、ほとんど変わらないと思います、ただ、大きな差はないのですが、東京書籍は、修学旅行という特定のものがありますけれども、修学旅行は時期的に3年生の1学期にきているんですね。とすると、校区内の中学校はどこも2年生ということで、その扱いは難しいかなと、あまりにも絞り込みされると、そういった時期的なものが引っかかるかなというところはあります。けれども、トピックとしてはどこもそう差はないかなと思います。</p>
委員	<p>もう少し大きく言えば、聞く、話す、読む、書くを関連させながら言語活動を行うというところは、そう差はないということですね。</p>

副部会長	はい。
部会長	分量といいますか、2ページのところ、4ページのところもあるということですね。
委員	教材もとても大事で、言語活動の技能とかいろんなことが習得されること、コミュニケーション能力も含めて。もうひとつ、英語圏の人達の文化、風土などを理解していくことが、将来英語を使うということにとって非常に大事なことになっていく。そのことを知らないで技だけ身に付けてもいけないと思うけれども、そういう面から見たときに、教材として、生活習慣とか文化とか伝統とかを心掛けているところはどうですか。
副部会長	どの教科書も登場人物に英語圏ではない国、例えば、東京書籍でしたらブラジル、インドを取り上げています。三省堂については、インド、中国ともうひとつ。開隆堂については、インドを取り上げています。ただ、そういうところで、当然出身国の文化、学校生活といったものはそれぞれのところで取り上げられています。そういう点ではさほど遜色ないと思います。ただ、1社、他の2社と比べ特色があるのが開隆堂です。どの会社も英語圏のカナダ、イギリス、オーストラリアなどの国を登場させているんですが、東京書籍と三省堂は全て白人、青い目の登場人物なんですけれども、開隆堂だけが、カナダ人であっても黒い肌の先生、或いは、アメリカ人であっても褐色系であったりアジア系である人を取り上げています。このことは、今の人種構造を唯一反映させているのかなと思いました。そういう取り上げ方で今の人種構造を子ども達が自然と受け入れられるという違いはあると思います。
委員	そういうことも含めて、それぞれの国の風土とかいろいろな観点から理解できるようにはなっている。
会長	他にございますか。
委員	Can do リストはとても大事なことで、3年分を巻末に出して、3年間の見通し自分でチェックできるというのは大事なことだろうと思います。それについての、選定部会での議論というのはどうだったのですか。
副部会長	平成28年度までに全ての中学校・高校がCan Do リストを作成するということになっていました。実際、高校をターゲットにされて、福岡県も高校は作成しなさいということになっていますけれども、中学校に関してはそういうのはでていません。

	ただ、見ていきましたところ、Can Do リストに関しては、開隆堂さんが出してあるのは、いわゆる各学校が作ると言われているものに代わり、これが基になっていくものでありますので、3年間ついているということは、私達にとっても3年間を見通して、育てていく必要があるので、非常にいいのではないかという意見がありました。
委員	大きな参考になる。
副部会長	そうですね。
委員	Can do リストの件で、各題材・内容についての、各学校、教職員の反応はいかがでしたか。
副部会長	Can Do リストが付いているという点については、開隆堂さんに対する意見は多かったのですが、Can Do リストがついているという意見が若干出されていました。
委員	今、ALTを使っての外国語の授業は当たり前になってしまいましましたけれども、専門家を活用した配慮があるような教科書という点ではどうですか。
副部会長	ALTをここで使うといった設定そのものはないんですけども、ALTの先生にインタビューしよう、或いはALTの先生の自己紹介など、どの教科書にもあったように思います。
委員	現実にあった配慮はされているということですね。
副部会長	ここでALTを使いなさいとはないんですけども、必ず導入の設定はされていると。
会長	他にございますか。無いようですので、外国語部の答申を終わらせていただきます。答申者の方、大変ありがとうございました。
(今村委員長、外国語選定部 部会長、副部会長 退出)	
事務局長	それでは、一種選定の投票を行います。 只今から、選定のための投票用紙を配布しますので、各自が選定された教科書に○印を付けて、投票して下さい。
(投票用紙 配布・記入)	
会長	それではただいまから、投票用紙を回収します。

	(投票用紙 回収・開票)
事務局長	<p>それでは、開票結果を発表します。</p> <p>外国語教科書は、開隆堂が過半数に達しておりますので、外國語教科書は、開隆堂が選定されました。以上です。</p>
事務局長	<p>以上をもちまして、選定委員会の答申及び一種選定は全て終了いたしました。今村委員長と境副委員長をお呼びしますので、しばらくお待ちください。</p>
	(今村委員長、境副委員長 入室)
事務局長	<p>第九地区採択協議会副会長、記伊教育長より選定委員会へお礼をお願いいたします。</p>
副会長	<p>第九地区採択協議会を代表いたしまして、一言お礼を申し上げます。お二人の校長先生におかれましては、5月25日の委嘱状交付式以来、数回に及ぶ教科の選定部会、それから本日は終日の審議ということで大変お世話をかけました。まずは、1種選定にこぎつけた訳でございますが、この後、私ども地区に戻りまして、再度確認をしたいと思いますので、簡単ですが謝辞とさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
事務局長	<p>ありがとうございました。これをもちまして、選定委員会の答申を終わらせていただきます。選定委員長、副委員長さんは退席をお願いいたします。</p>
	(今村選定委員長、境副委員長退席)
事務局	<p>この後、1種選定教科書の確認ということで、今から作業をいたしますので、時間を5分ほど頂きたいと思います。25分からでもよろしいでしょうか。</p>
	(再 開)
事務局	<p>それでは、協議事項に入らせていただきます。</p> <p>議事進行は、日高会長にお願いいたします。</p>

	(1種選定一覧配付)
会長	本日の実施要項の P 8、4 の協議事項の (1) の 1種選定に進めさせていただきます。今配つていただいたものでございますが、1種選定について、事務局から結果を読み上げますので、選定結果について各自確認をお願いいたします。では、お願ひいたします。
事務局	<p>国語 光村図書 「国語」</p> <p>書写 光村図書 「中学書写」</p> <p>社会 地理的分野 東京書籍 「新編 新しい社会 地理」</p> <p>歴史的分野 東京書籍 「新編 新しい社会 歴史」</p> <p>公民的分野 東京書籍 「新編 新しい社会 公民」</p> <p>地図 東京書籍 「新編 新しい社会 地図」</p> <p>数学 啓林館 「未来へひろがる数学」</p> <p>理科 大日本図書 「理科の世界」</p> <p>音楽 一般 教芸 「中学生の音楽」</p> <p>器楽 教芸 「中学生の器楽」</p> <p>美術 日文 「美術」</p> <p>保健体育 学研 「新・中学保健体育」</p> <p>技術家庭 技術分野 開隆堂 「技術・家庭 技術分野」</p> <p>家庭分野 東京書籍 「新しい技術・家庭 家庭分野」</p> <p>外国語 開隆堂 「SUNSHINE ENGLISH COURSE」</p> <p>以上でございます。</p>
会長	では、再度確認をいたします。選定結果に間違いはございませんでしょうか。
委員一同	はい。
会長	<p>では、間違いなしということで、進行いたします。</p> <p>国語以下、各教科の教科書は、当採択協議会において、今確認いただきました一覧表とおり、一種選定されました。</p> <p>なお協議事項のその他については、再度の確認になりますが、資料の P 11 ~ 14 にありますとおり、各教育委員会の採択結果の報告等よろしくお願ひいたします。</p> <p>以上をもちまして、本日の協議等は全て終了いたしました。</p> <p>本日は早朝から真にありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、第 4 回第九地区教科用図書採択協議会を終了いたします。お疲れ様でした。</p>

--	--